

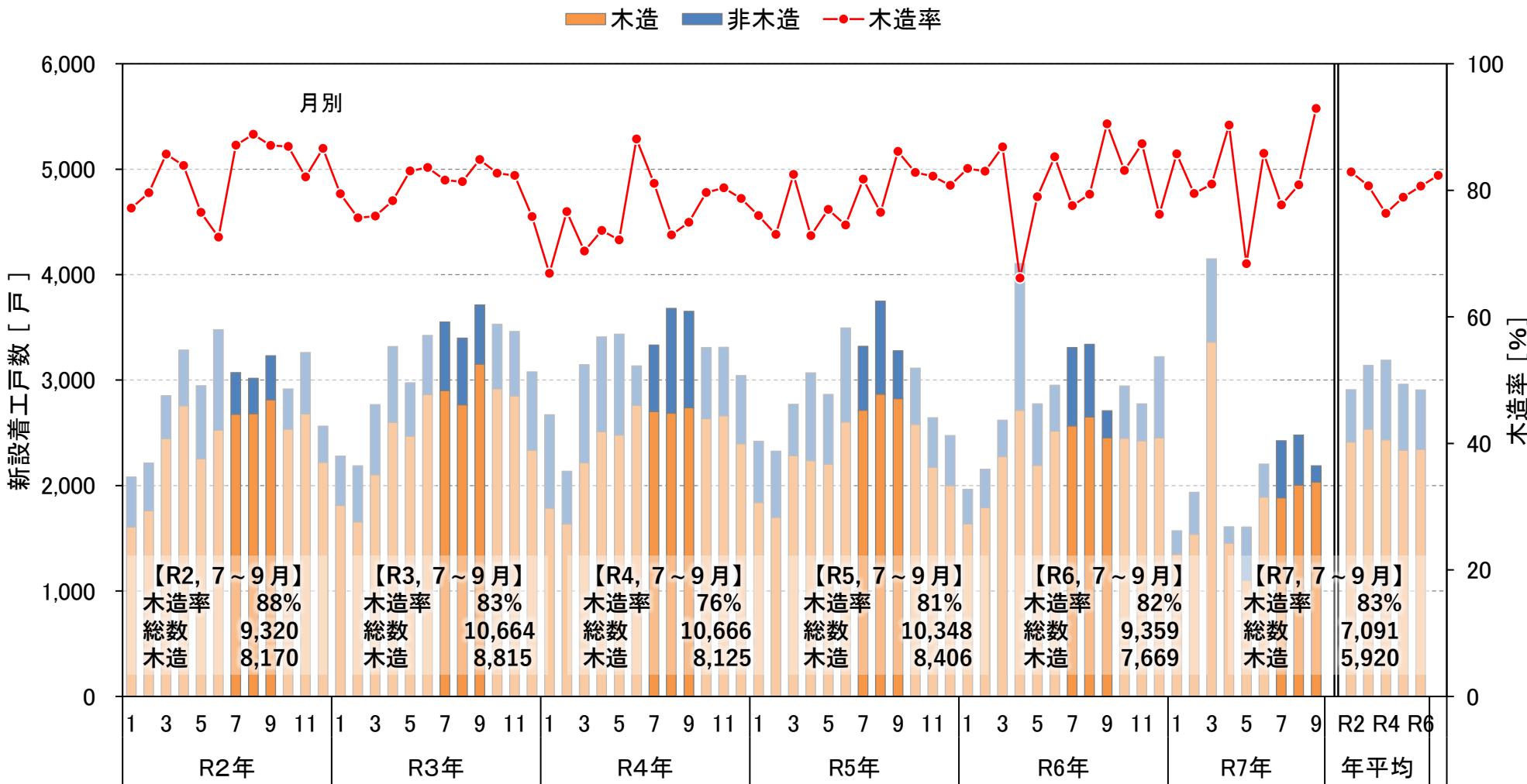
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和7年12月5日(金)

東北森林管理局

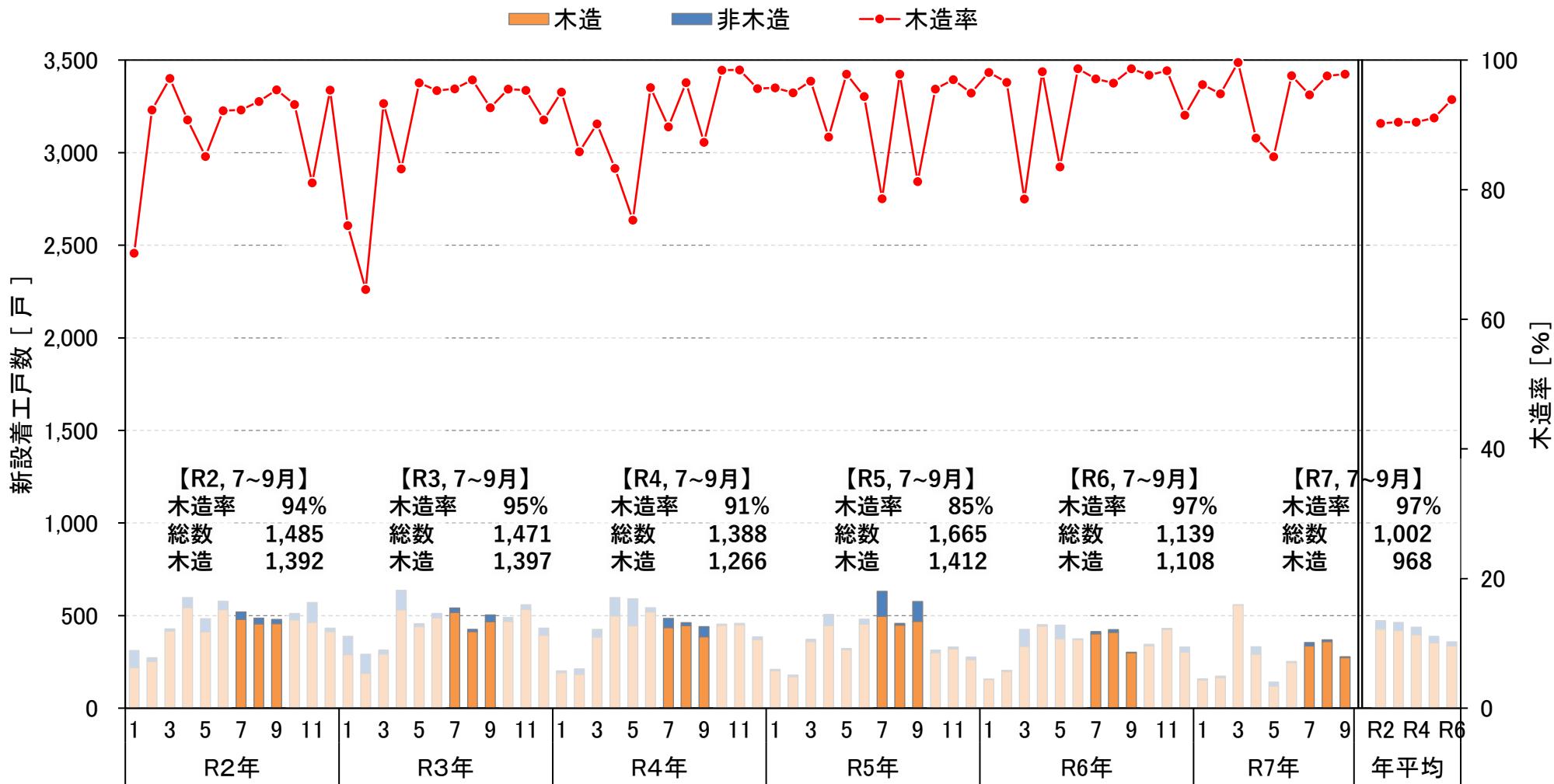
■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年9月)

- 東北5県の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より2,268戸(24%)減少した。
この期間の木造は昨年同期より1,749戸減少し、木造率は+1%であった。



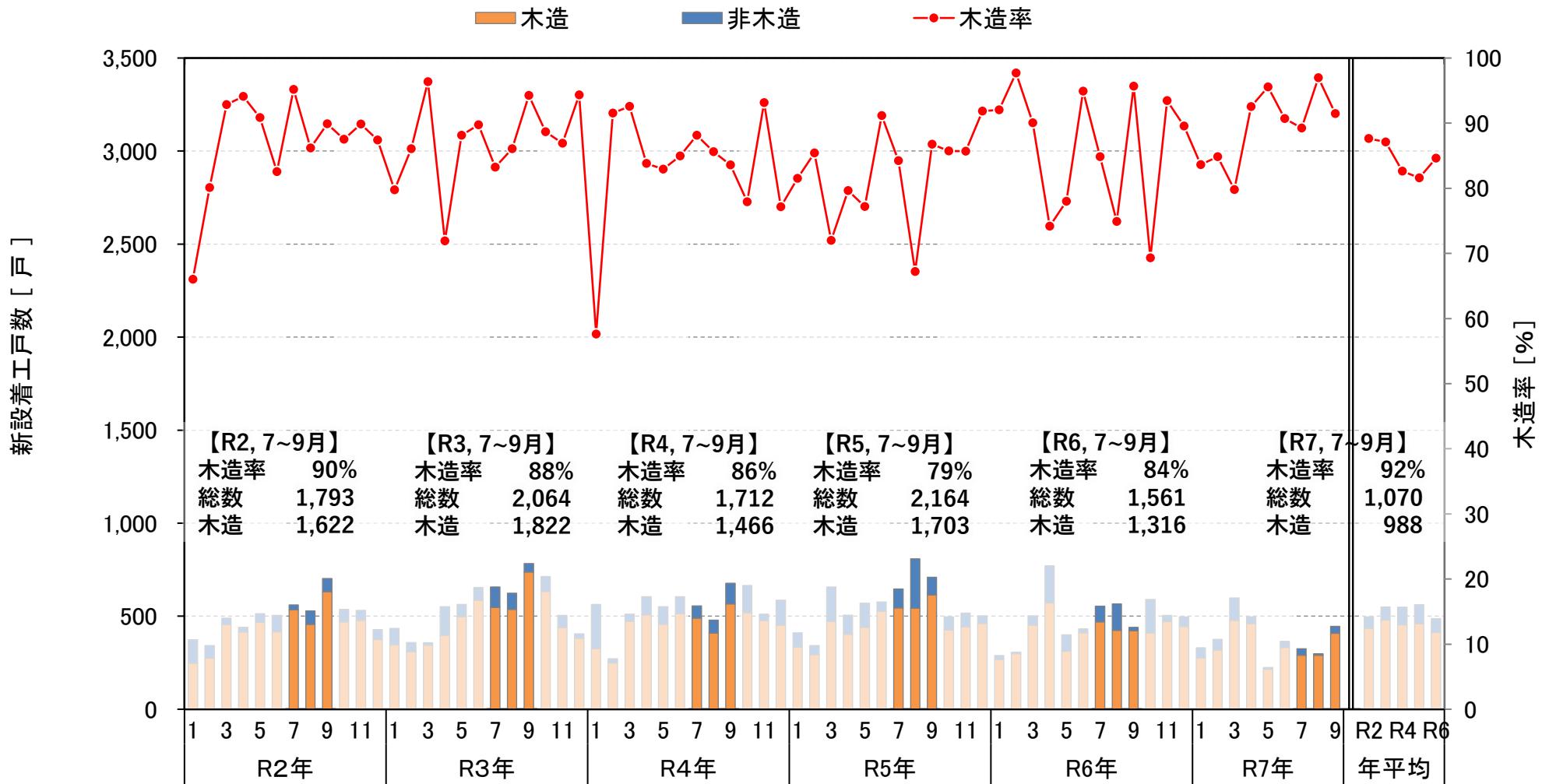
■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年9月)

- 青森県の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より137戸減少した。
この期間の木造は140戸減少し、木造率は±0%であった。



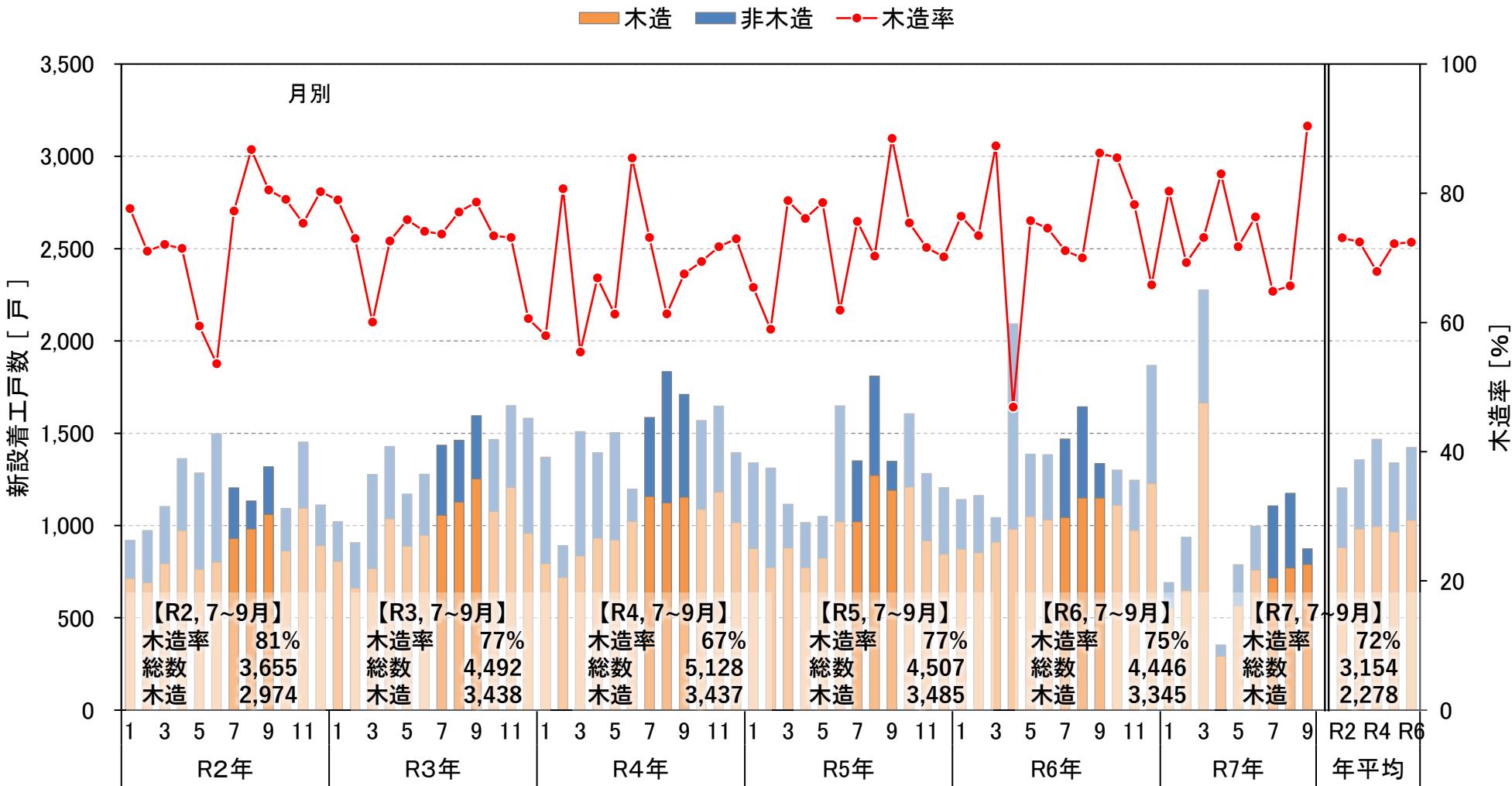
■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 岩手県の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より491戸減少した。
この期間の木造は328戸減少し、木造率は8%増加した。



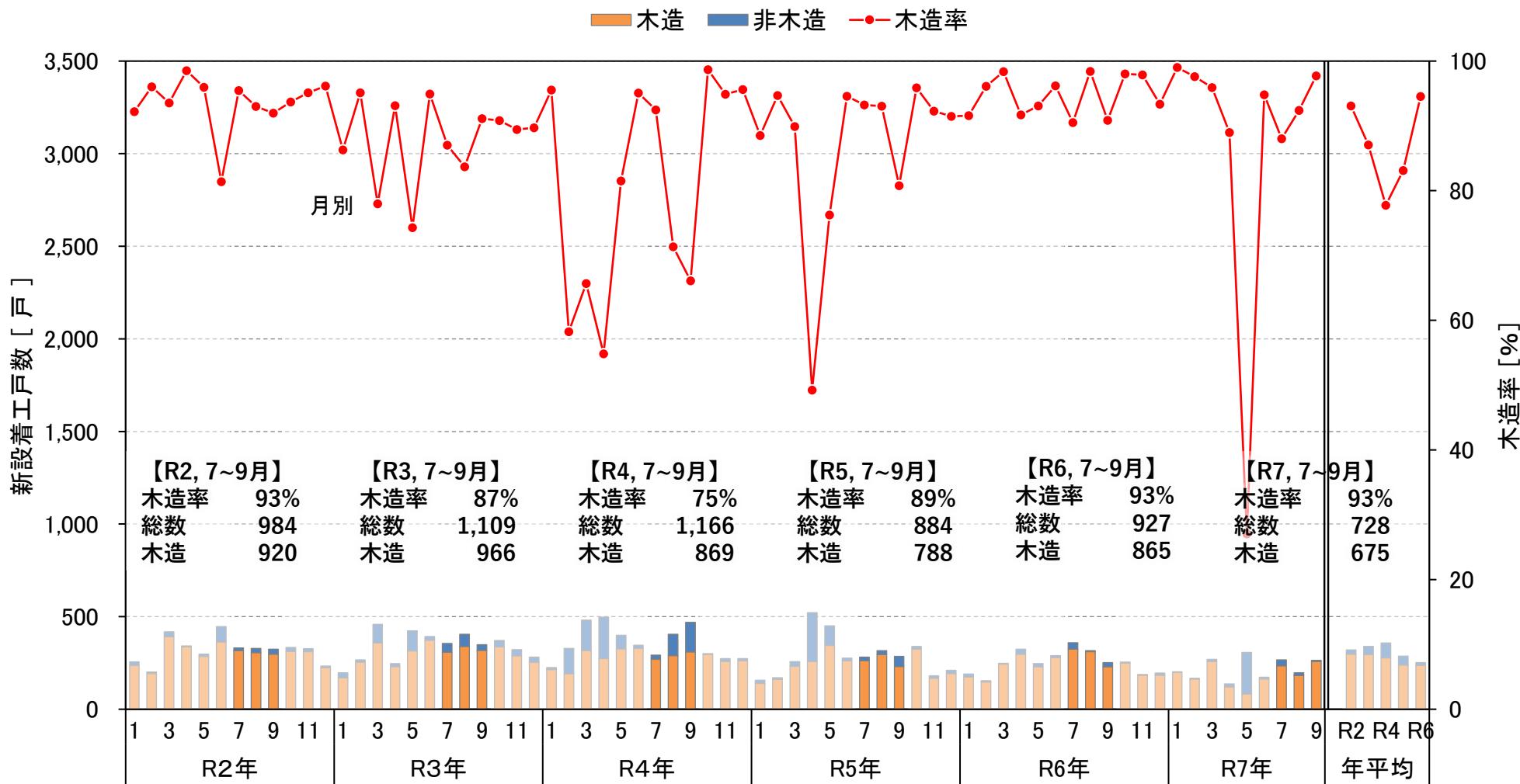
■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年9月)

- 宮城県の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,292戸減少した。
この期間の木造は1,067戸減少し、木造率は3%減少した。



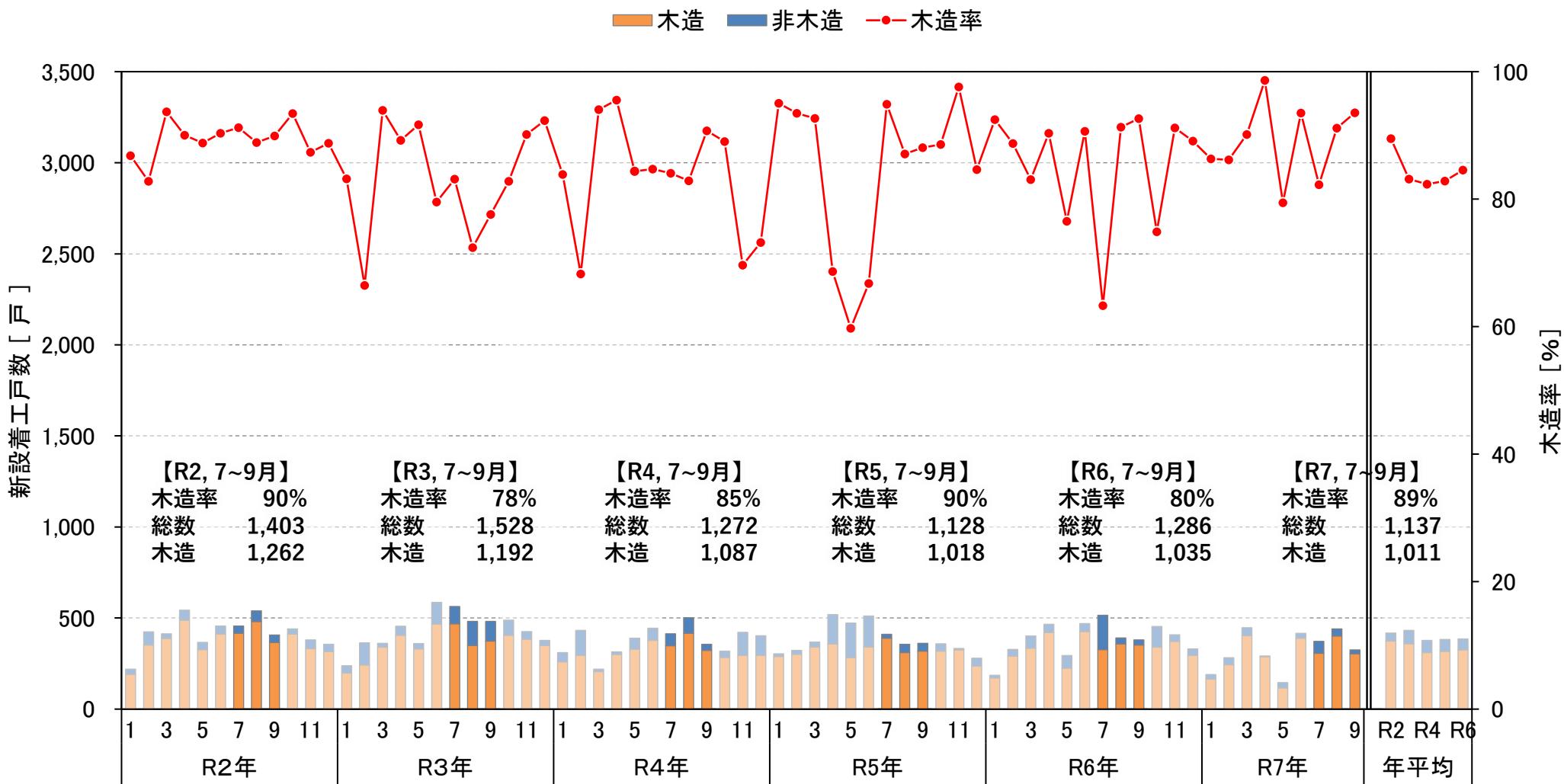
■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年9月)

- 秋田県の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より199戸減少した。
この期間の木造は190戸減少し、木造率は±0%であった。



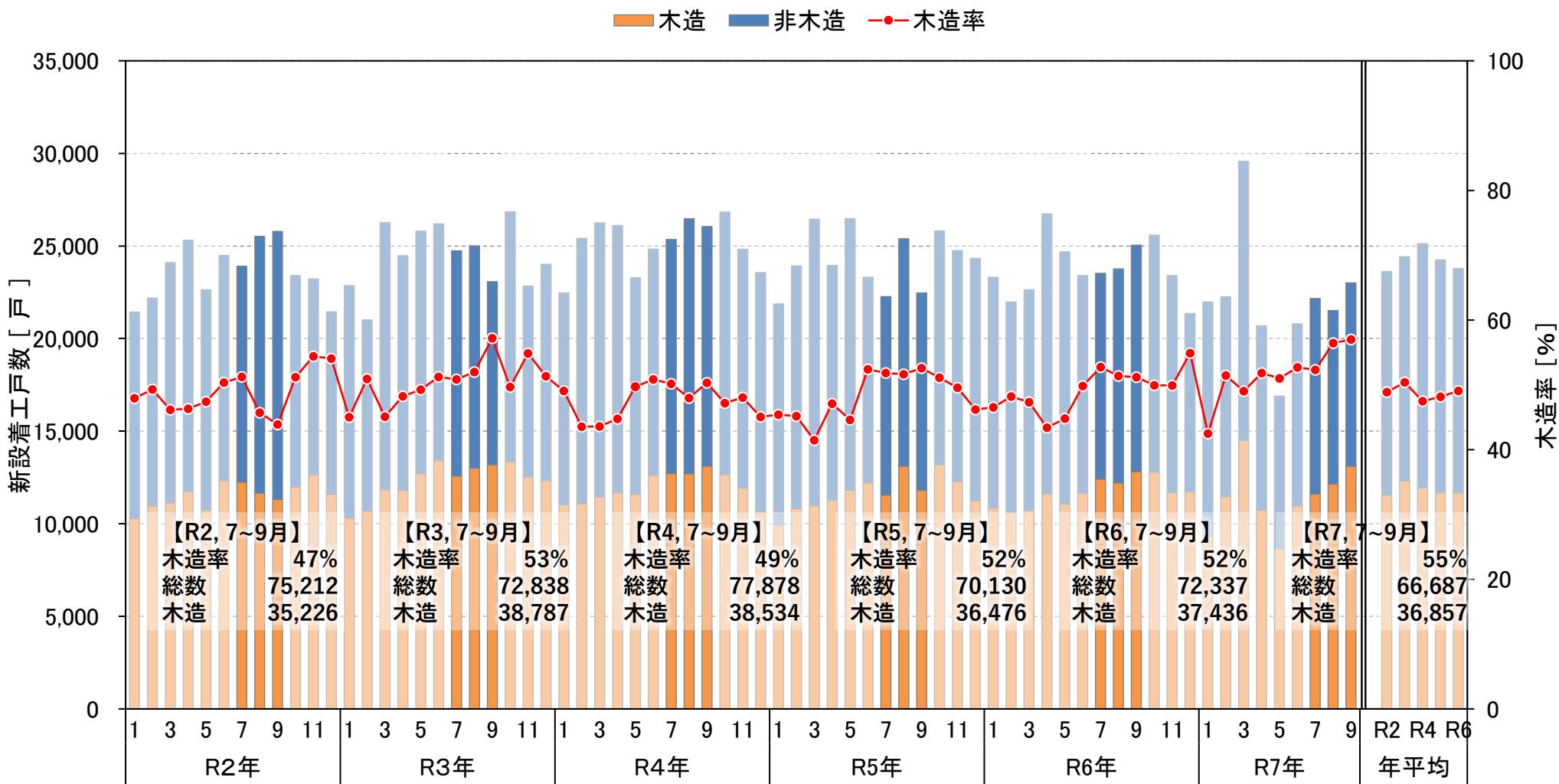
■ 山形県の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和7年9月)

- 山形県の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より149戸減少した。
この期間の木造は24戸減少し、木造率は9%増加した。



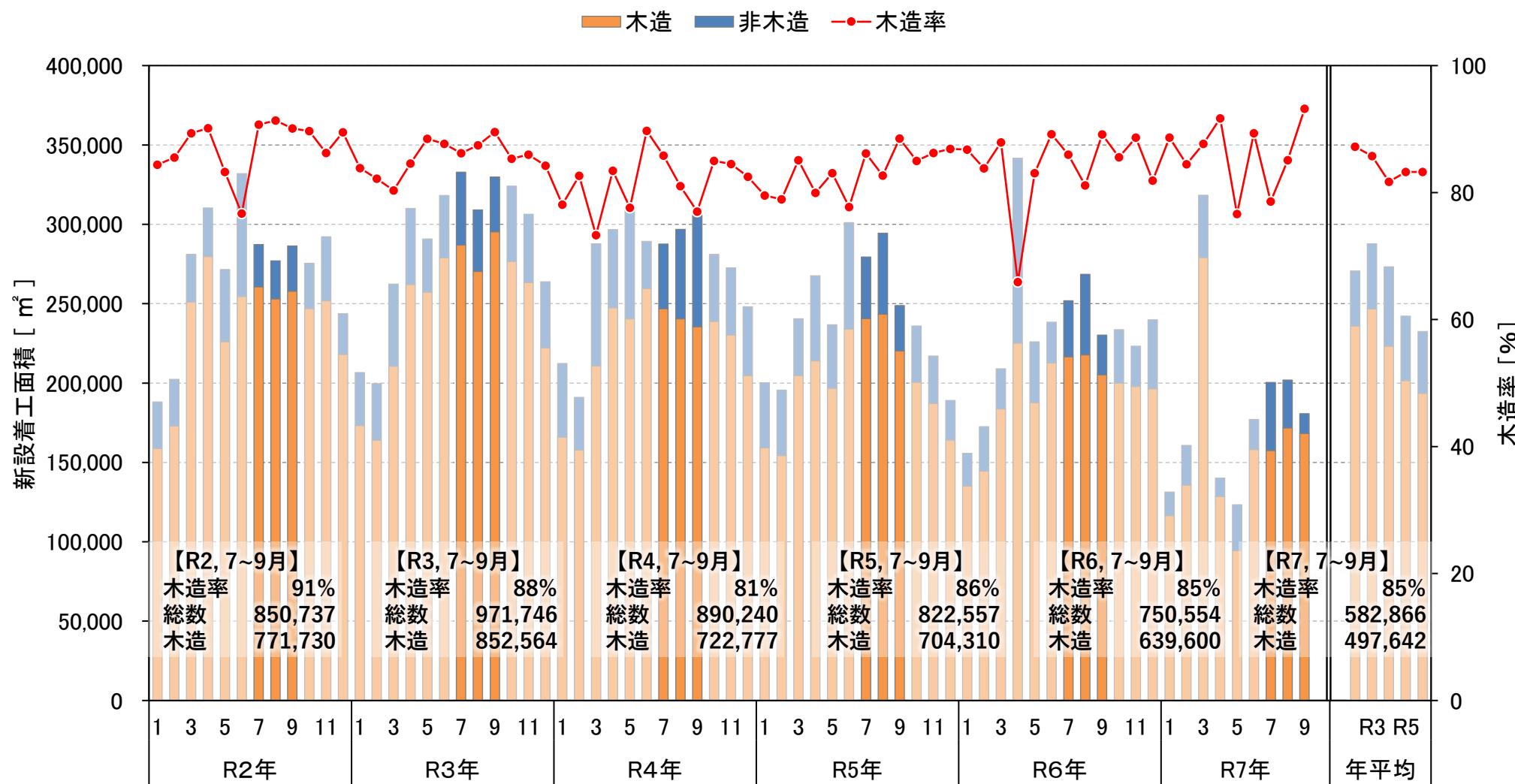
■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 関東主要都市の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より5,650戸(22%)減少した。この期間の木造は579戸減少し、木造率は3%増加した。



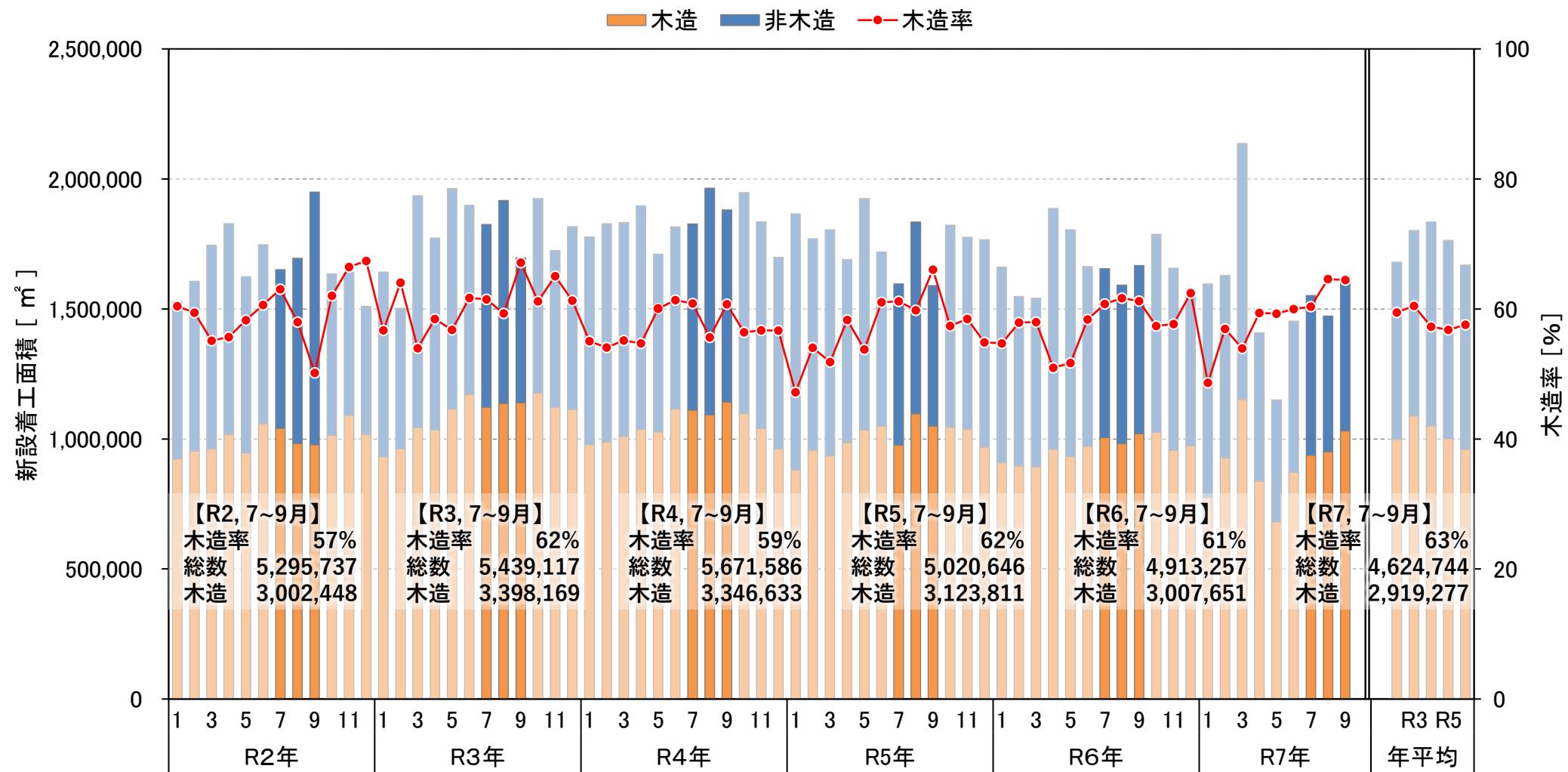
■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和7年9月)

- 東北5県の令和7年7～9月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より167,688m²(22.3%)減少した。この期間の木造は昨年同期より141,958m²減少し、木造率は±0%であった。



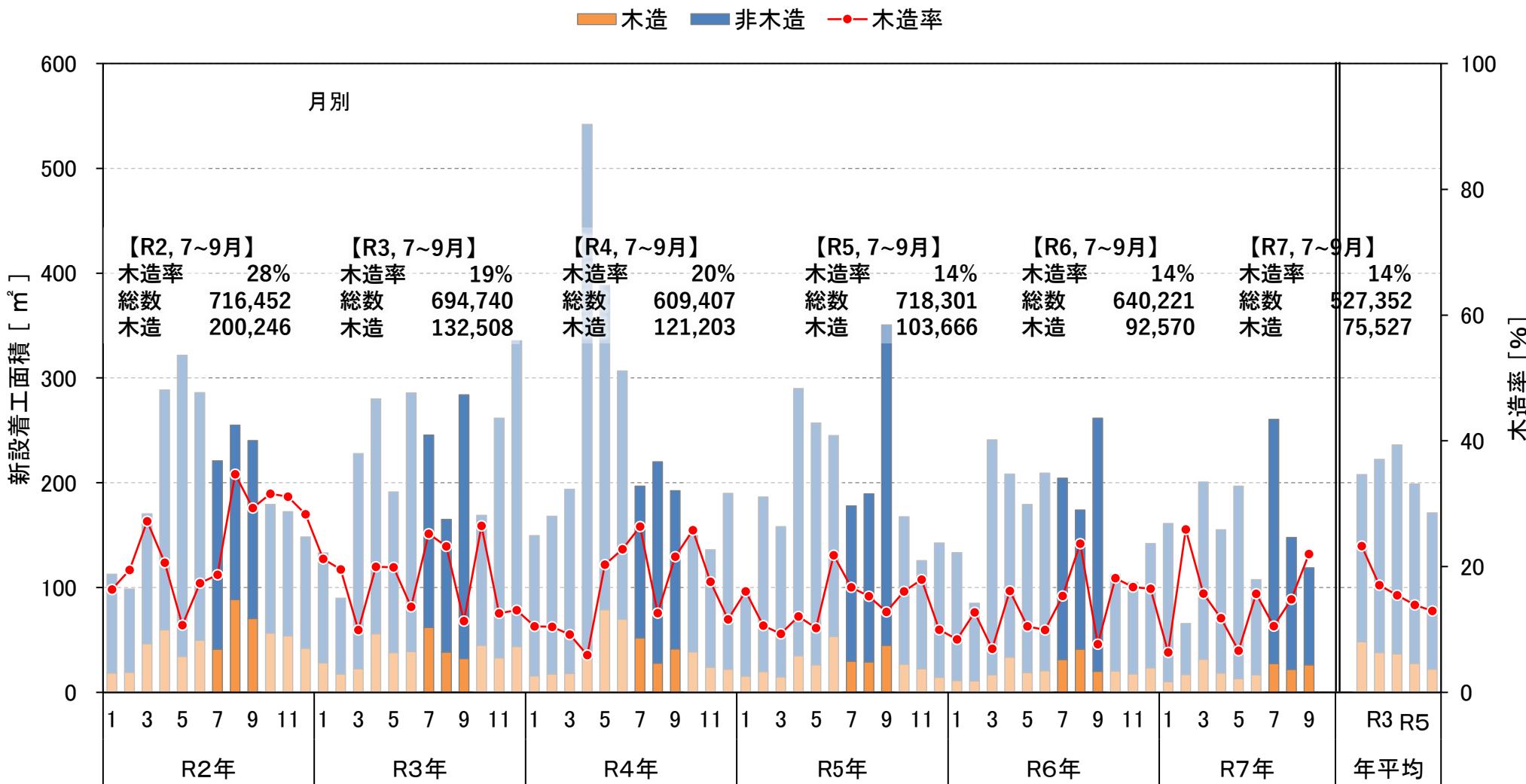
■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 関東主要都市の令和7年7～9月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より288,513m²(5.9%)減少した。この期間の木造は88,374m²減少し、木造率は2%増加した。



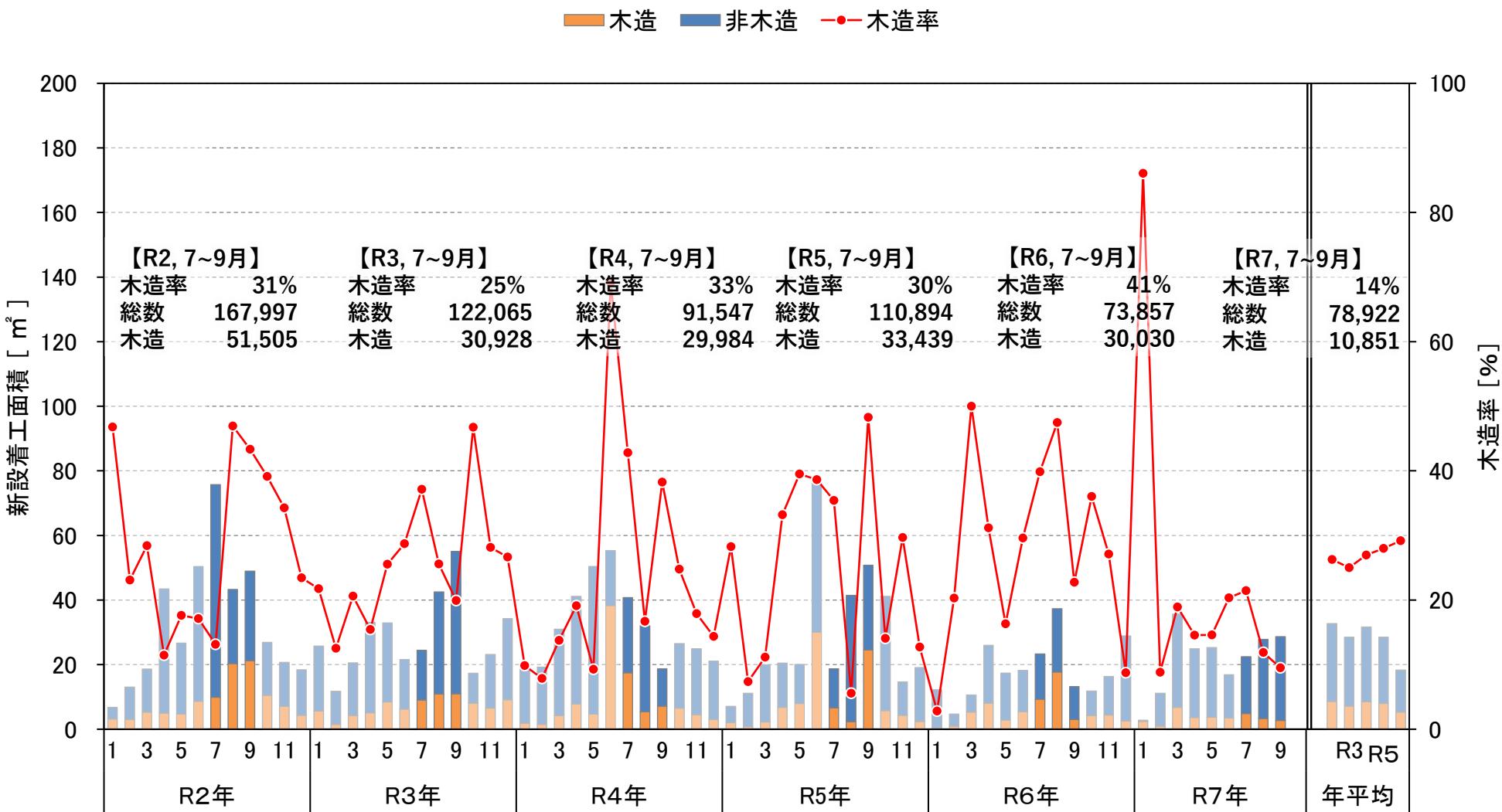
■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 東北5県の令和7年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より112,869m²減少した。
この期間の木造は昨年同期より17,043m²減少し、木造率は±0%であった。



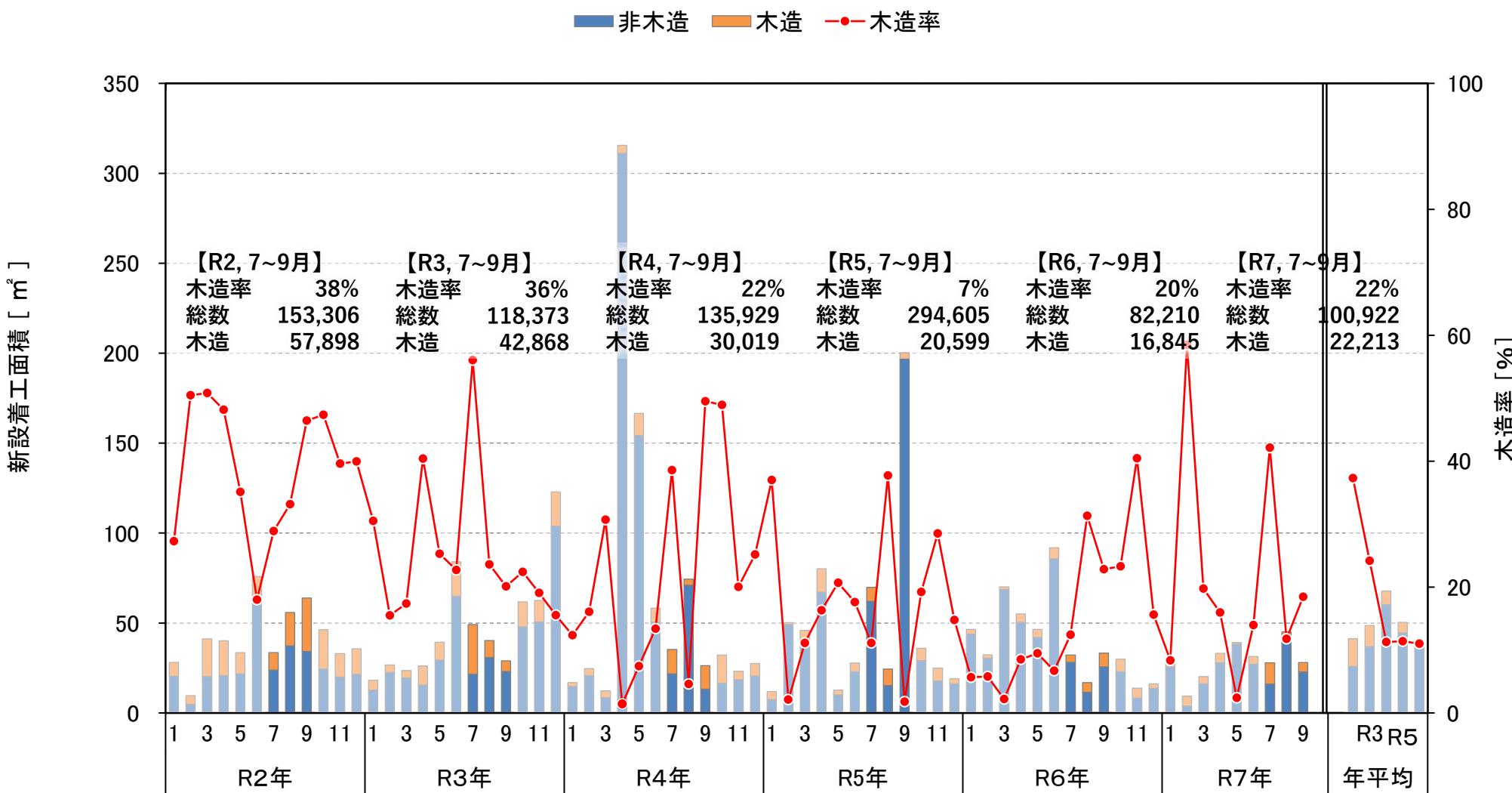
■ 青森県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 青森県の令和7年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より5,065m²増加した。この期間の木造は19,179m²減少し、木造率は27%減少した。



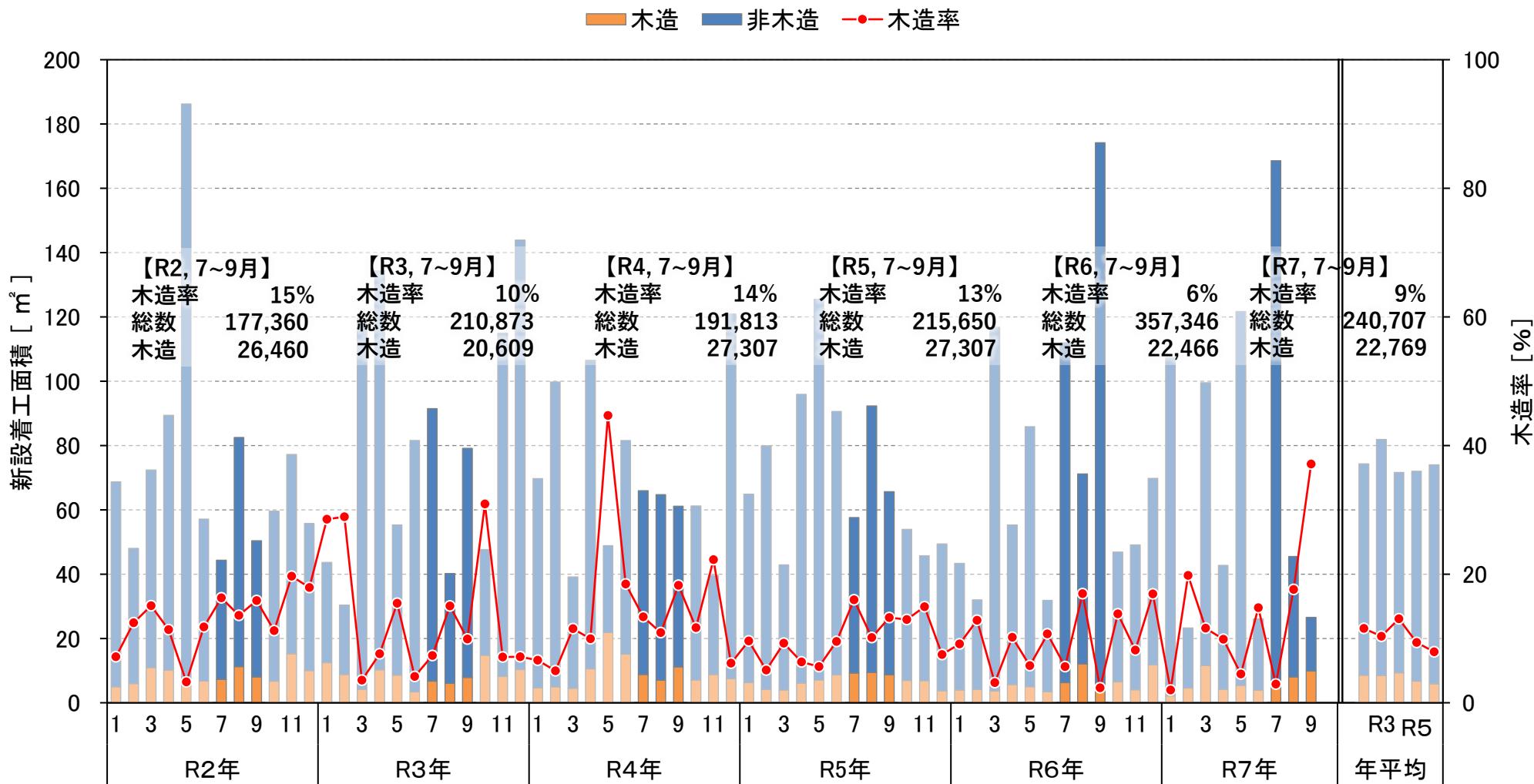
■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 岩手県の令和7年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より18,712m²増加した。
この期間の木造は5,368m²増加し、木造率は2%増加した。



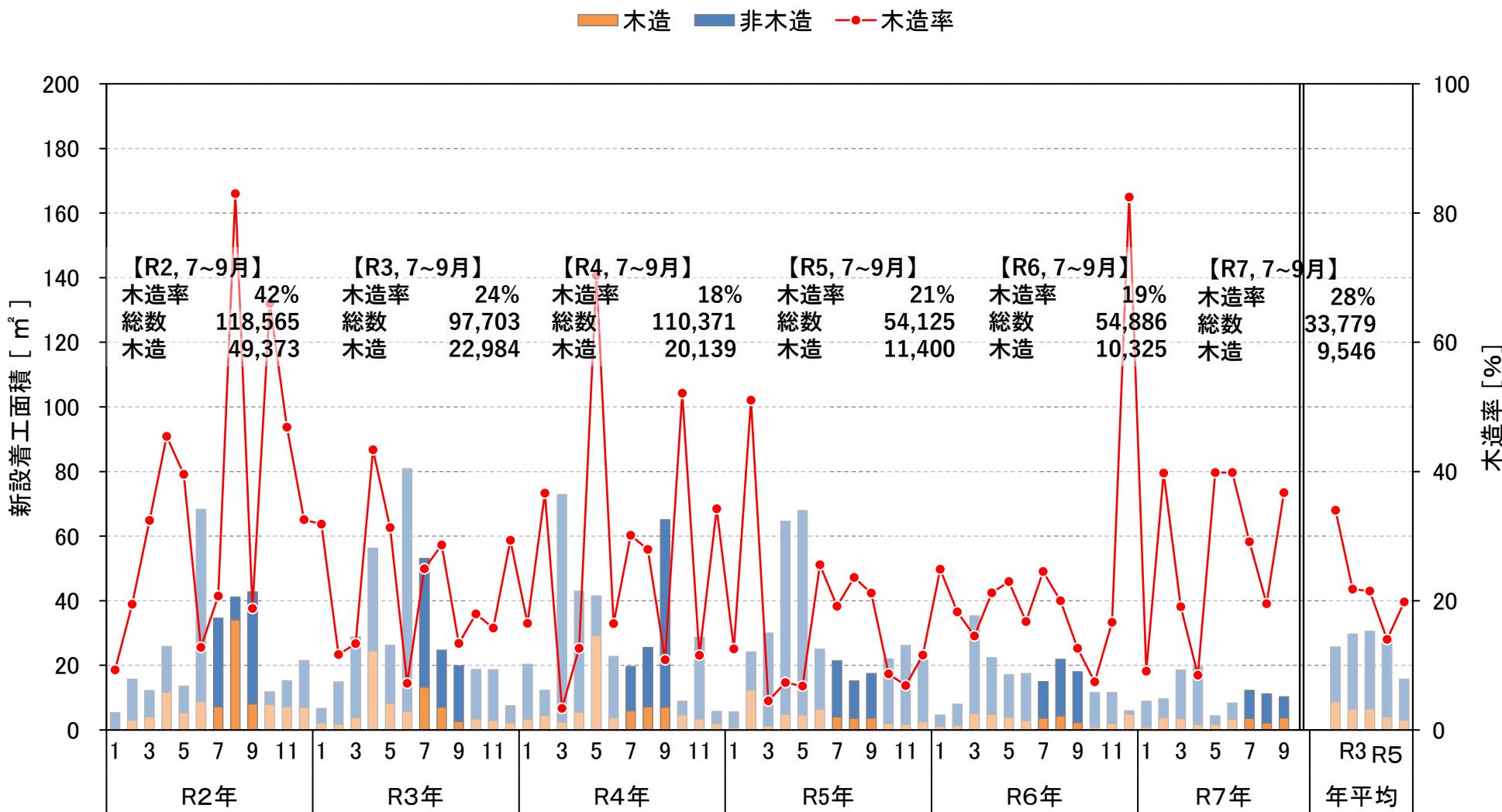
■ 宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 宮城県の令和7年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より116,639m²減少した。
この期間の木造は303m²増加し、木造率は3%増加した。



■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和2年4月～令和7年9月)

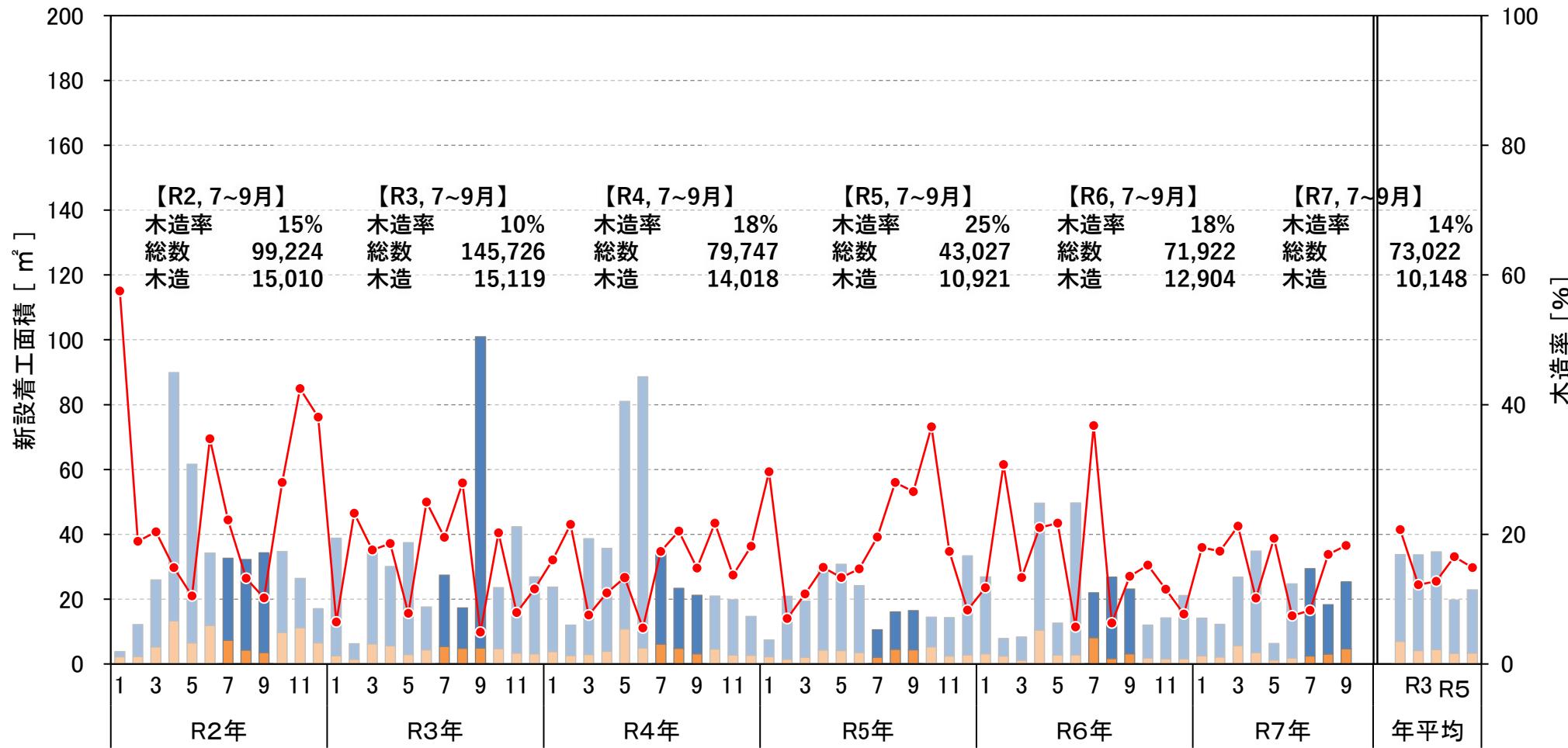
- 秋田県の令和7年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より21,107m²減少した。この期間の木造は779m²減少し、木造率は9%増加した。



■ 山形県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 山形県の令和7年7～9月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より1,100m²増加した。
この期間の木造は2,756m²減少し、木造率は4%減少した。

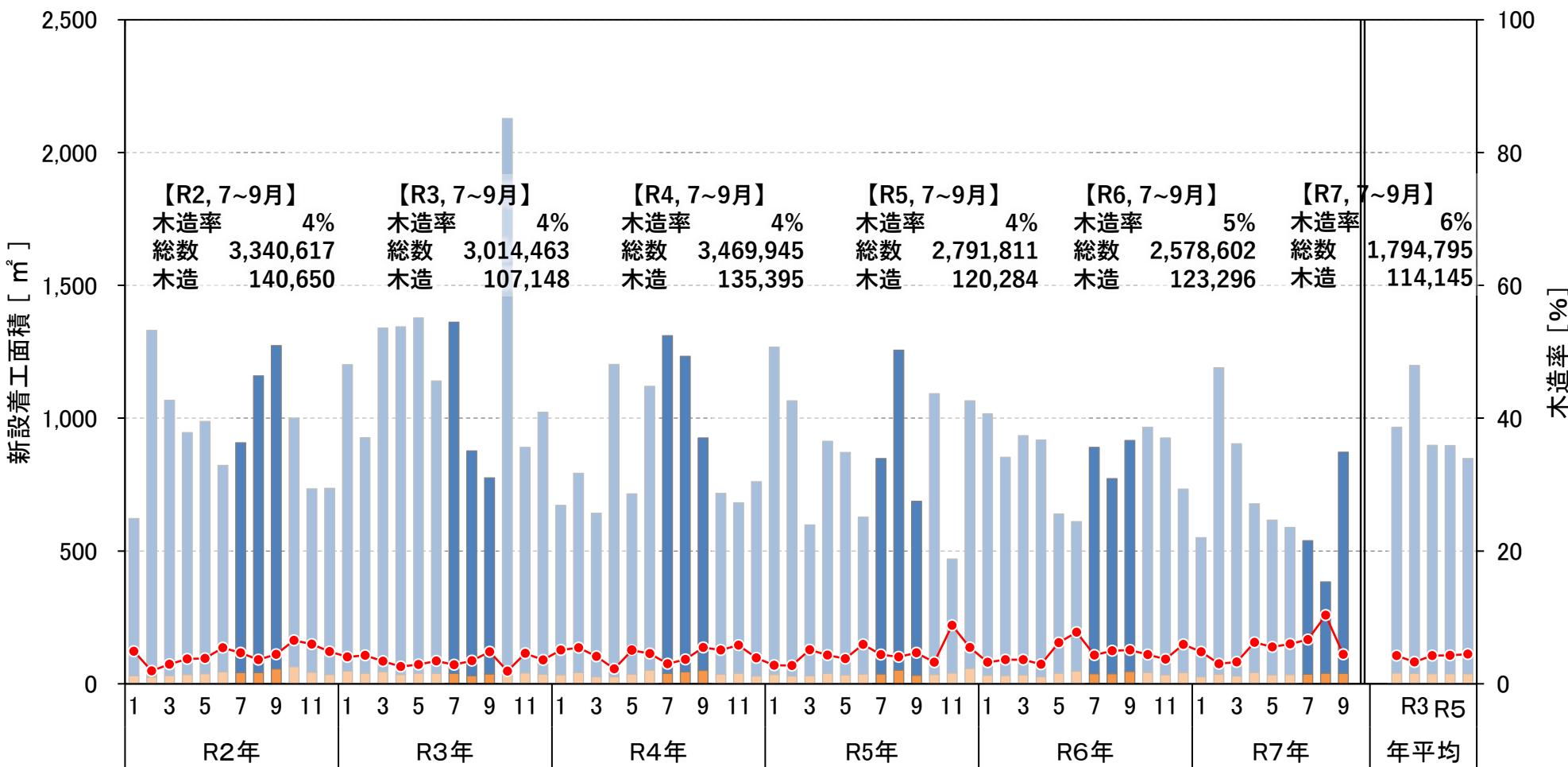
■ 木造 ■ 非木造 ■ 木造率



■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和7年9月）

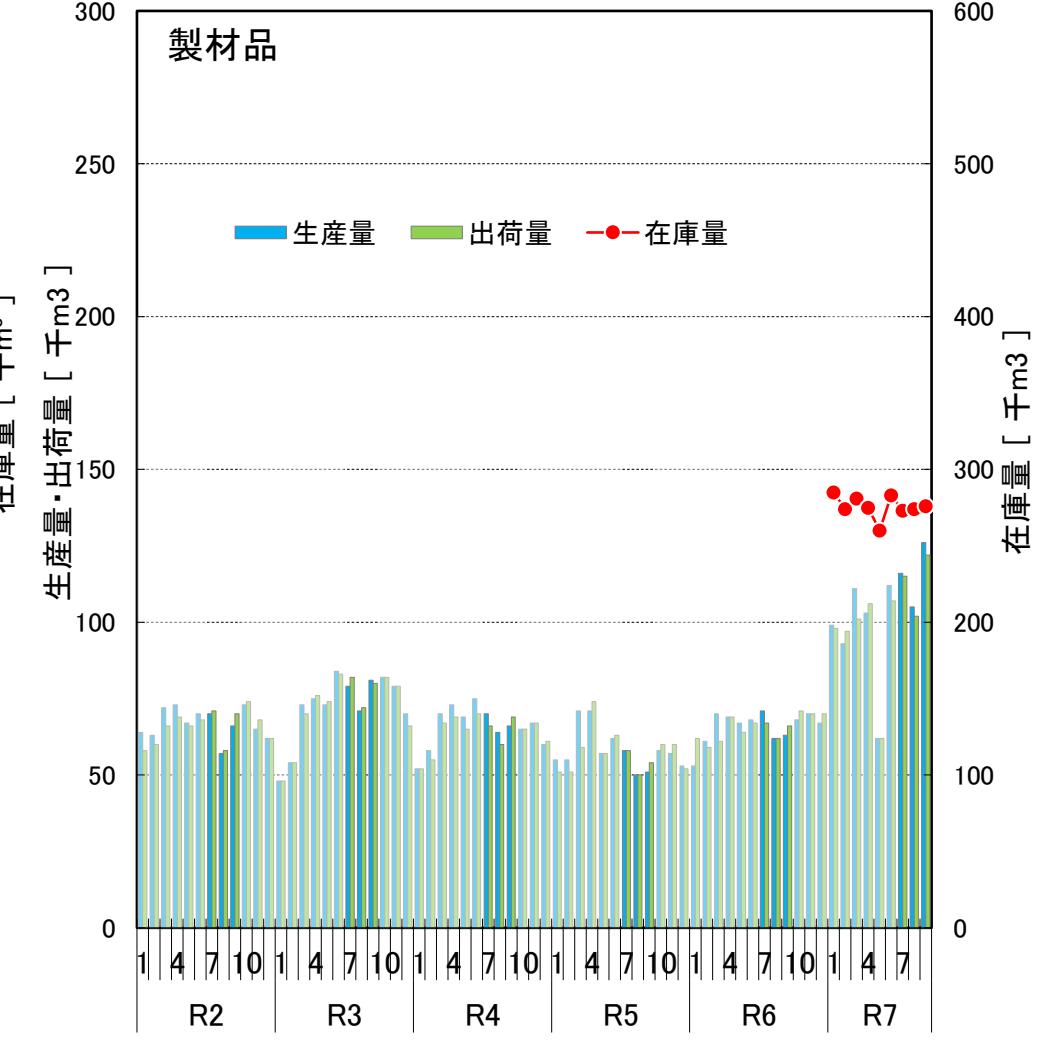
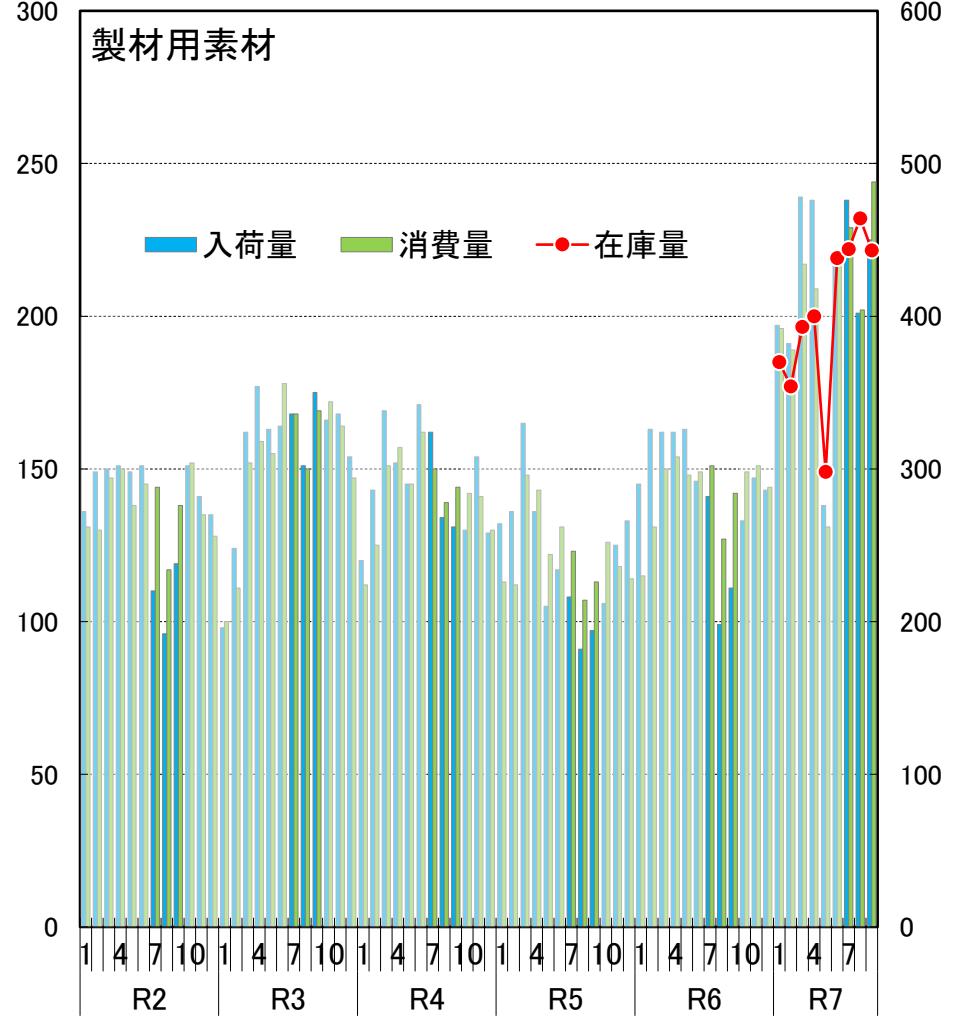
- 関東主要都市の令和7年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より783,807m²減少した。
この期間の木造は9,151m²減少し、木造率は+2%だった。

■ 木造 ■ 非木造 ■ 木造率



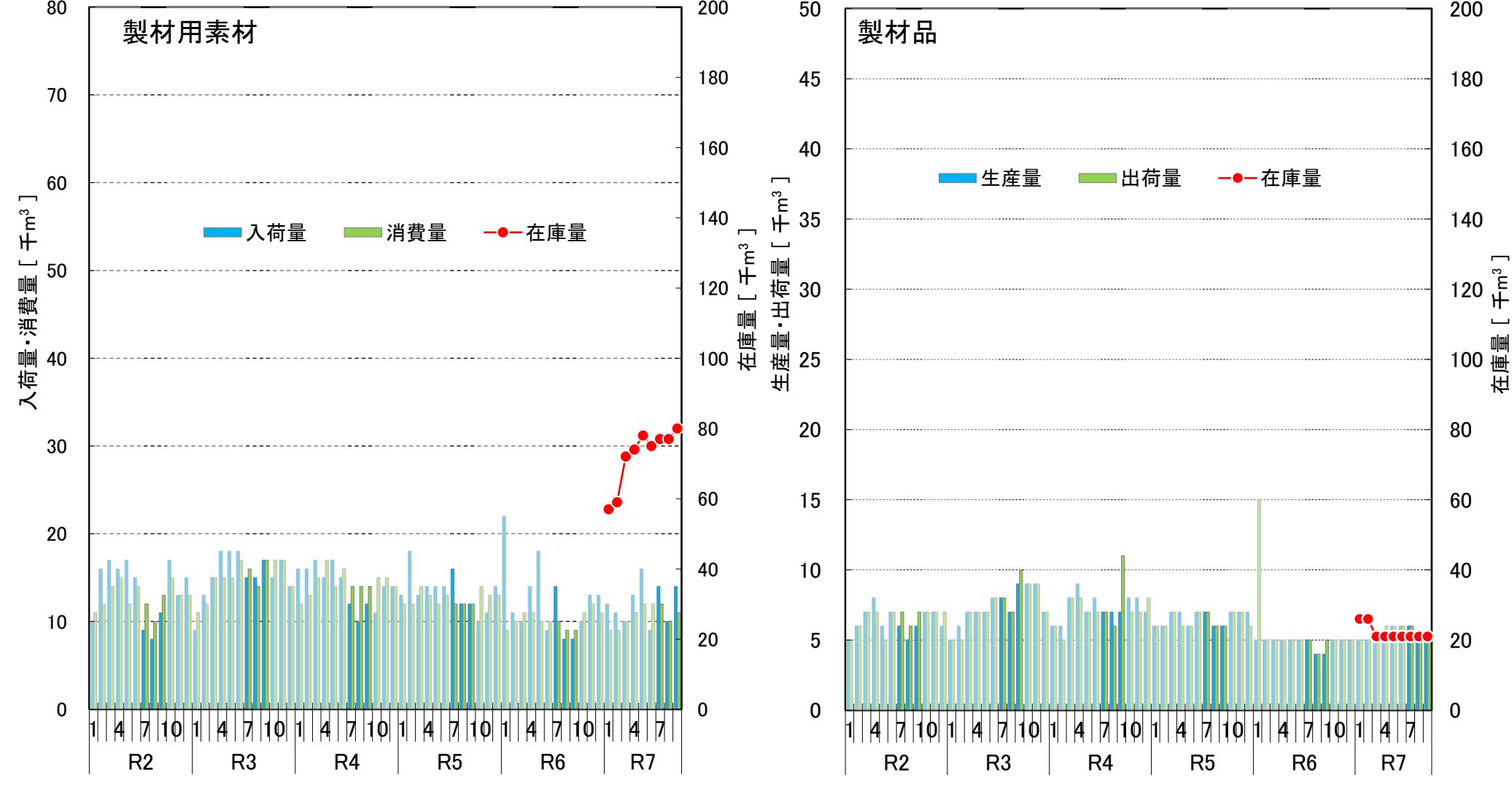
■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 東北5県の製材用素材の令和7年7～9月の入荷量は昨年同期比+89%、消費量は+61%
- 製材品の令和7年7～9月の生産量は昨年同期比+77%、出荷量は+74%。



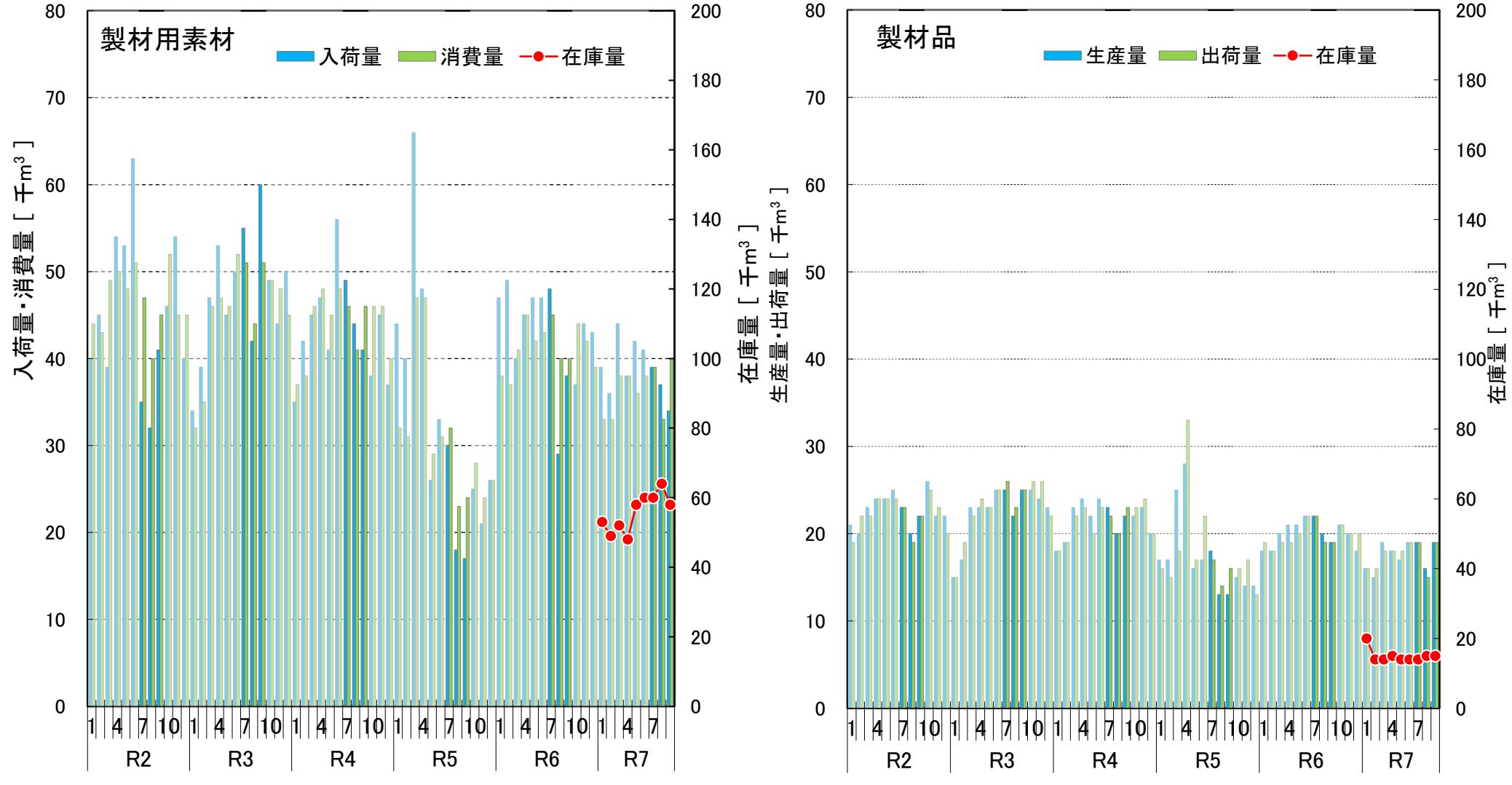
■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 製材用素材の令和7年7～9月の入荷量は昨年同期比+27%、消費量は+18%。
- 製材品の令和7年7～9月の生産量は昨年同期比+23%、出荷量は+14%。



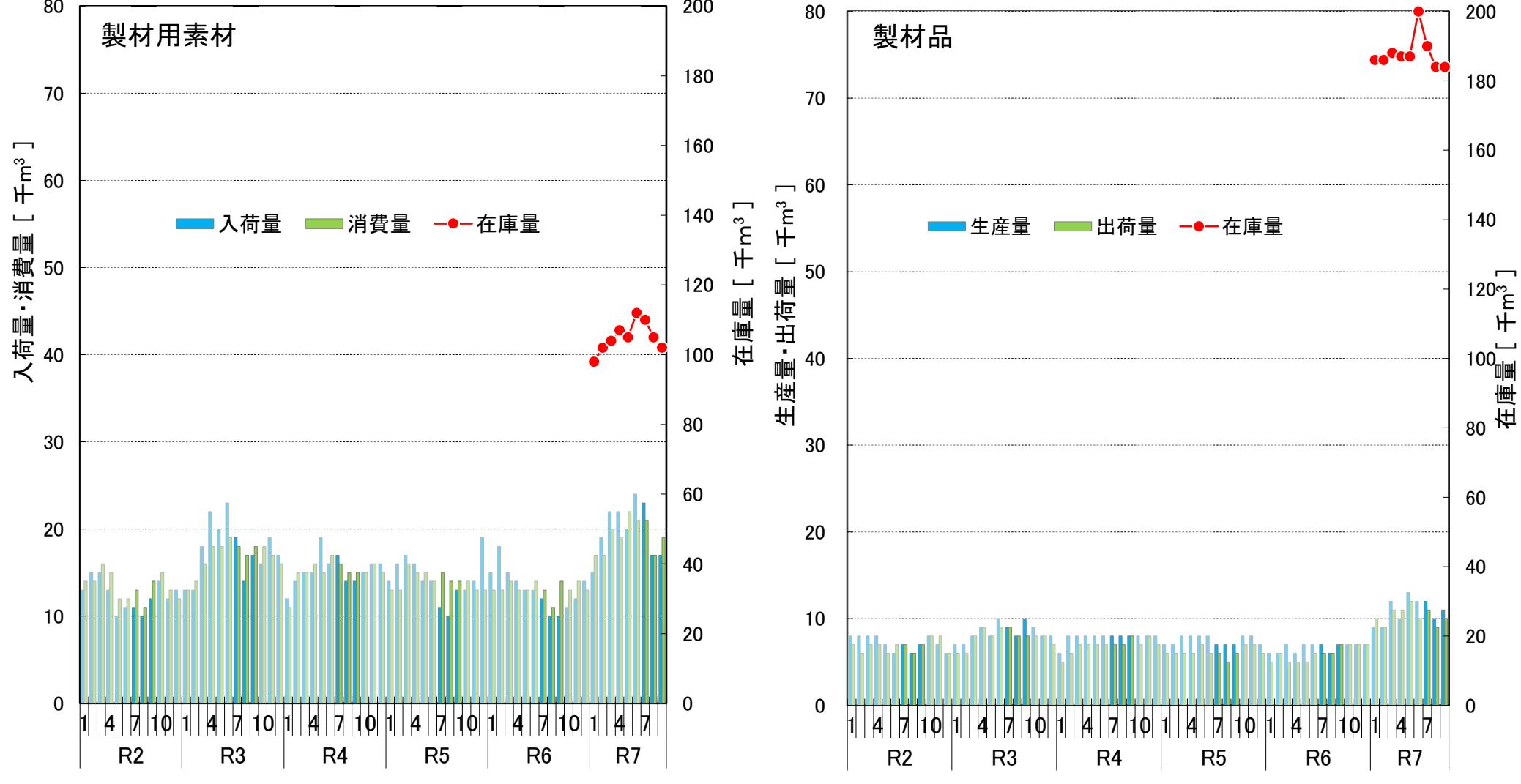
■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 製材用素材の令和7年7～9月の入荷量は昨年同期比−4%、消費量は−10%。
- 製材品の令和7年7～9月の生産量は昨年同期比−11%、出荷量は−12%。



■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年9月）

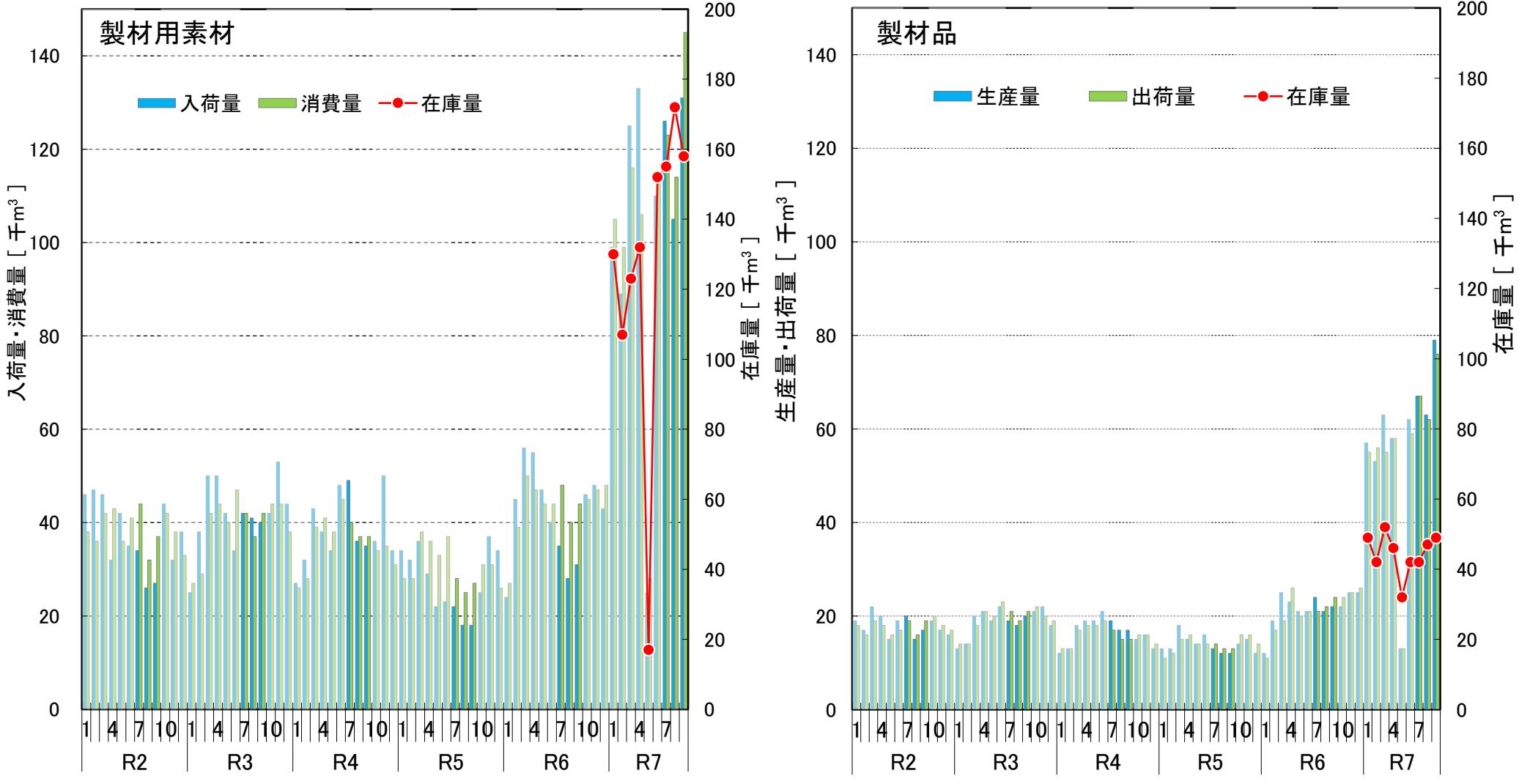
- 製材用素材の令和7年7～9月の入荷量は昨年同期比+78%、消費量は+50%。
- 製材品の令和7年7～9月の生産量は昨年同期比+65%、出荷量は+58%。



■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年9月）

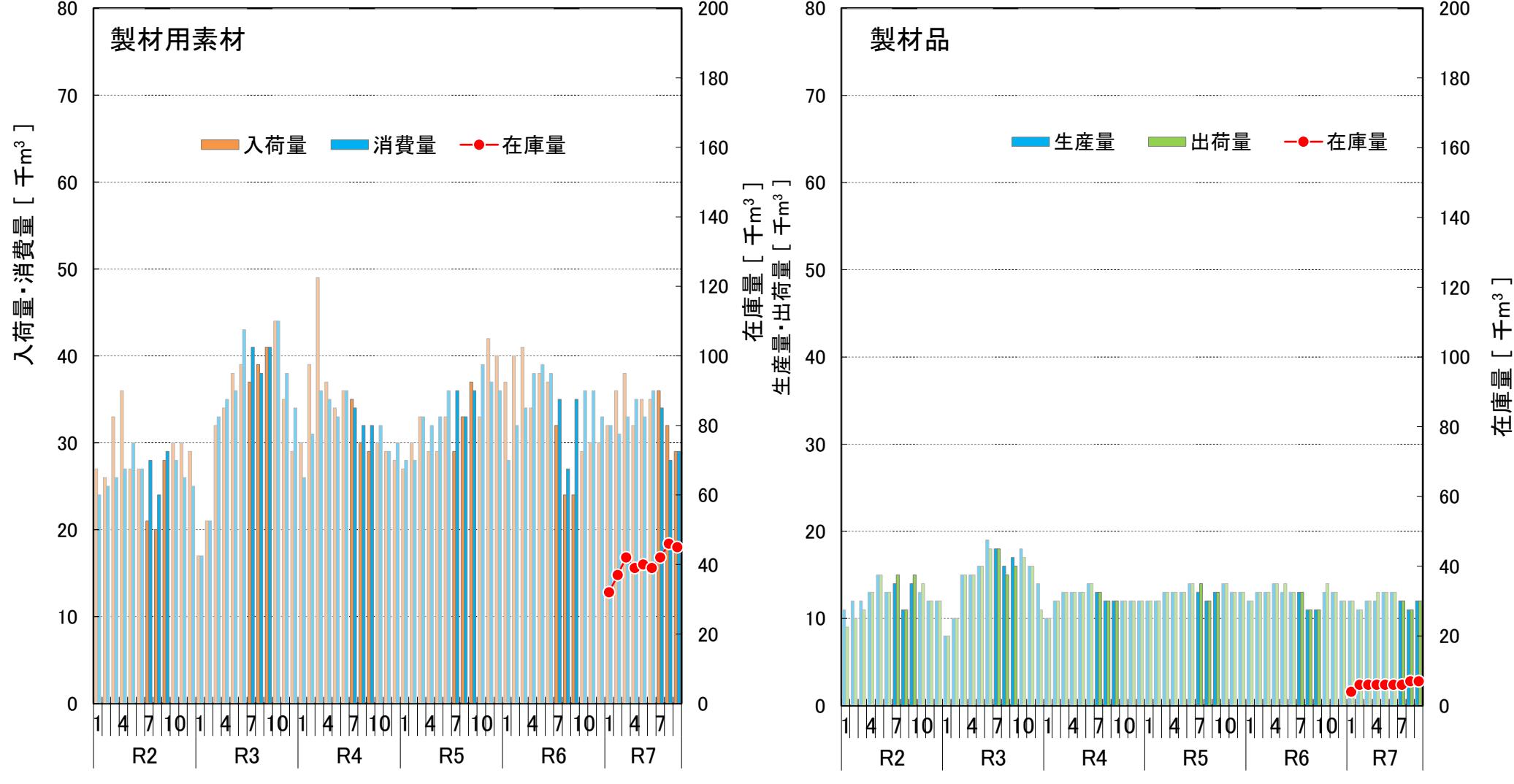
○ 製材用素材の令和7年7～9月の入荷量は昨年同期比+285%、消費量は+83%。

○ 製材品の令和7年7～9月の生産量は昨年同期比+212%、出荷量は+206%。



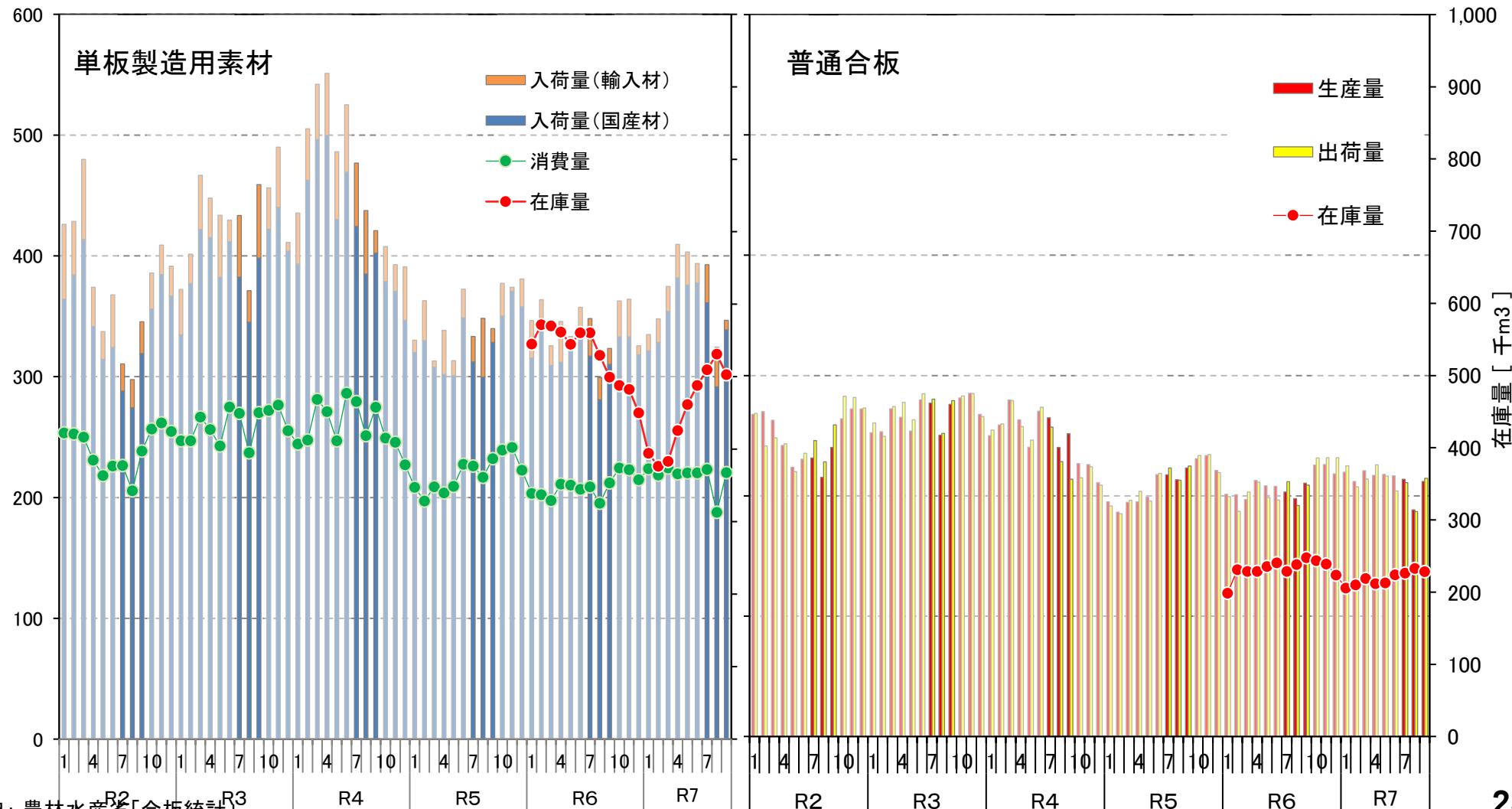
■ 山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 製材用素材の令和7年7～9月の入荷量は昨年同期比21%、消費量は−6%。
- 製材品の令和7年7～9月の生産量は昨年同期比±0%、出荷量は±0%。



■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- 単板製造用素材の令和7年7～9月期の入荷量は昨年同期比+10%、うち国産材は+9%、消費量は+2%、在庫量は9月比+1%。
- 普通合板の令和7年7～9月期の生産量は昨年同期比±0%、出荷量は±0%、在庫量は9月比-8%。

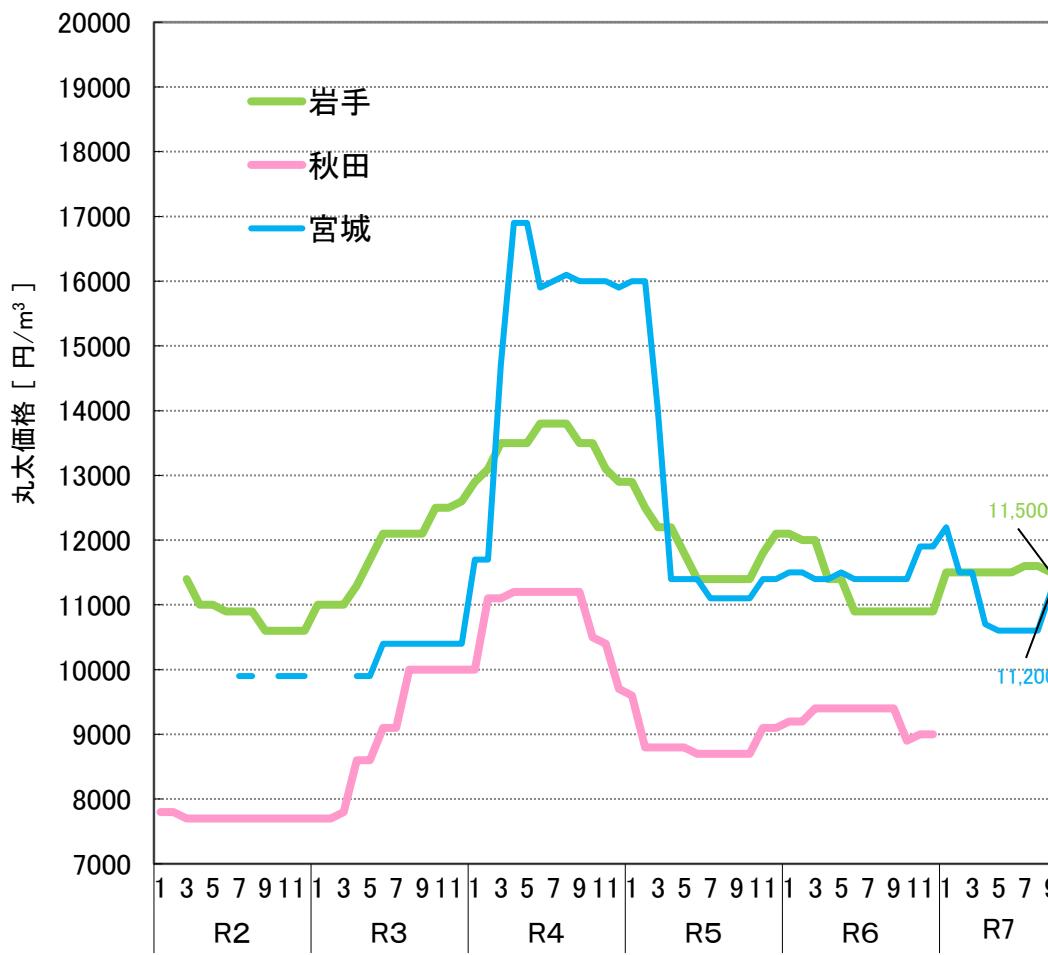


出典：農林水産省「合板統計」

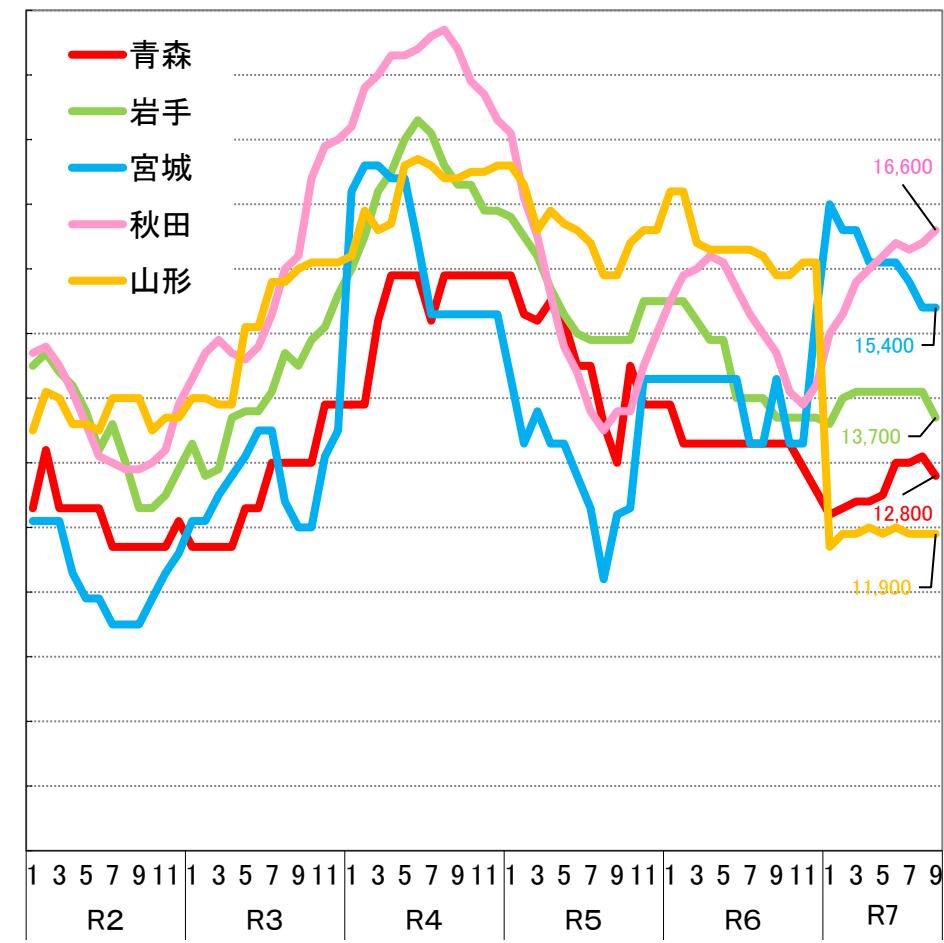
■ すぎ丸太価格の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- すぎ小丸太価格は7月以降、岩手で横ばい、宮城は値上げである。秋田県はデータなし。
- すぎ中丸太価格は7月以降、青森・岩手・宮城で値下がり傾向だが、秋田では値上げ。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)



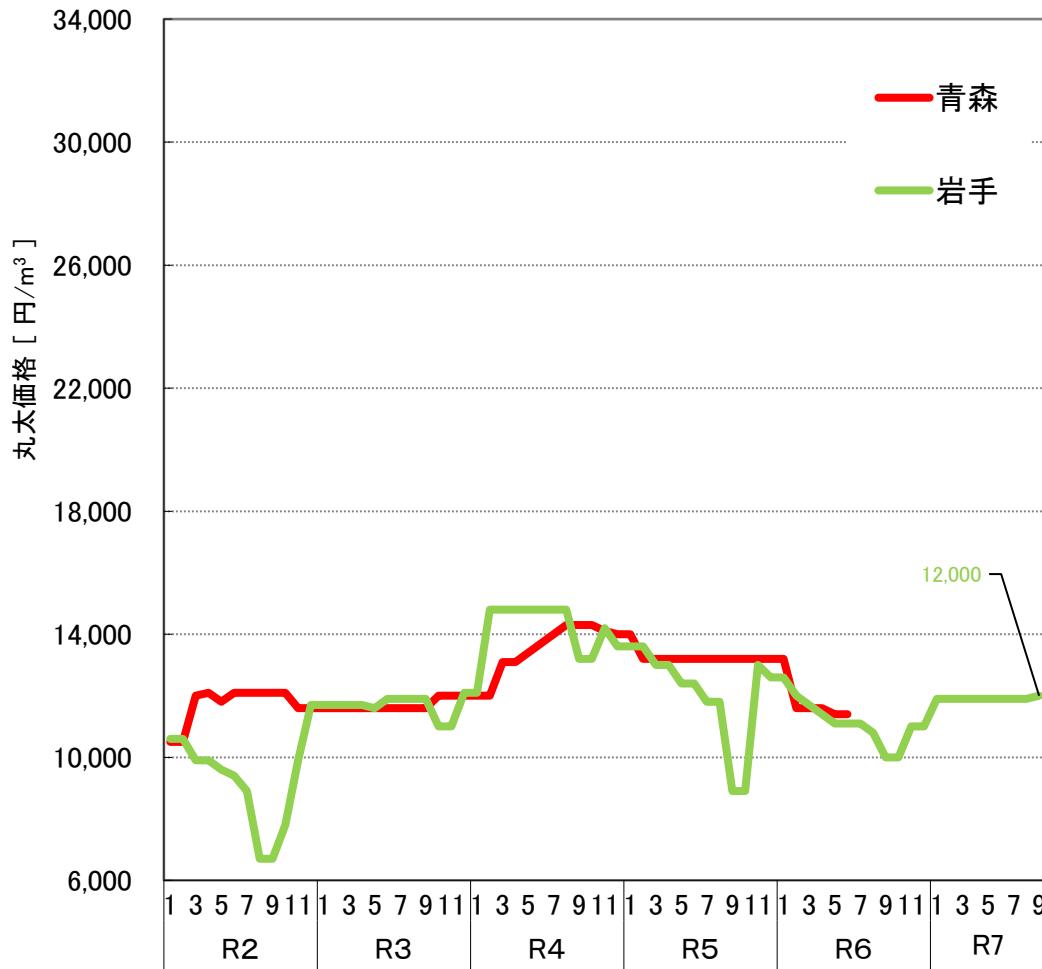
すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



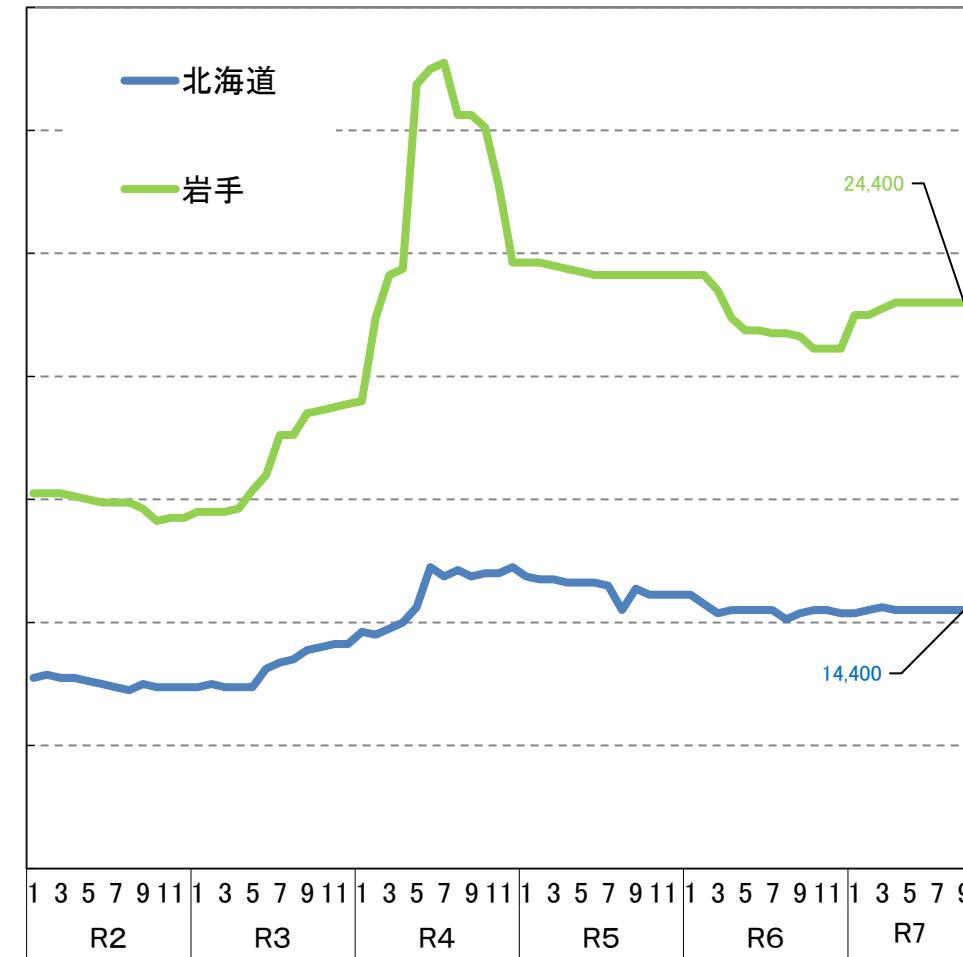
■ まつ・からまつ丸太価格の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- まつ中丸太価格は、岩手では7月以降、 m^3 あたり100円上昇。青森は昨年(R6)7月以降データなし。
- からまつ丸太価格は7月以降、北海道・岩手ともに横ばい。岩手と北海道の価格差は10,000円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



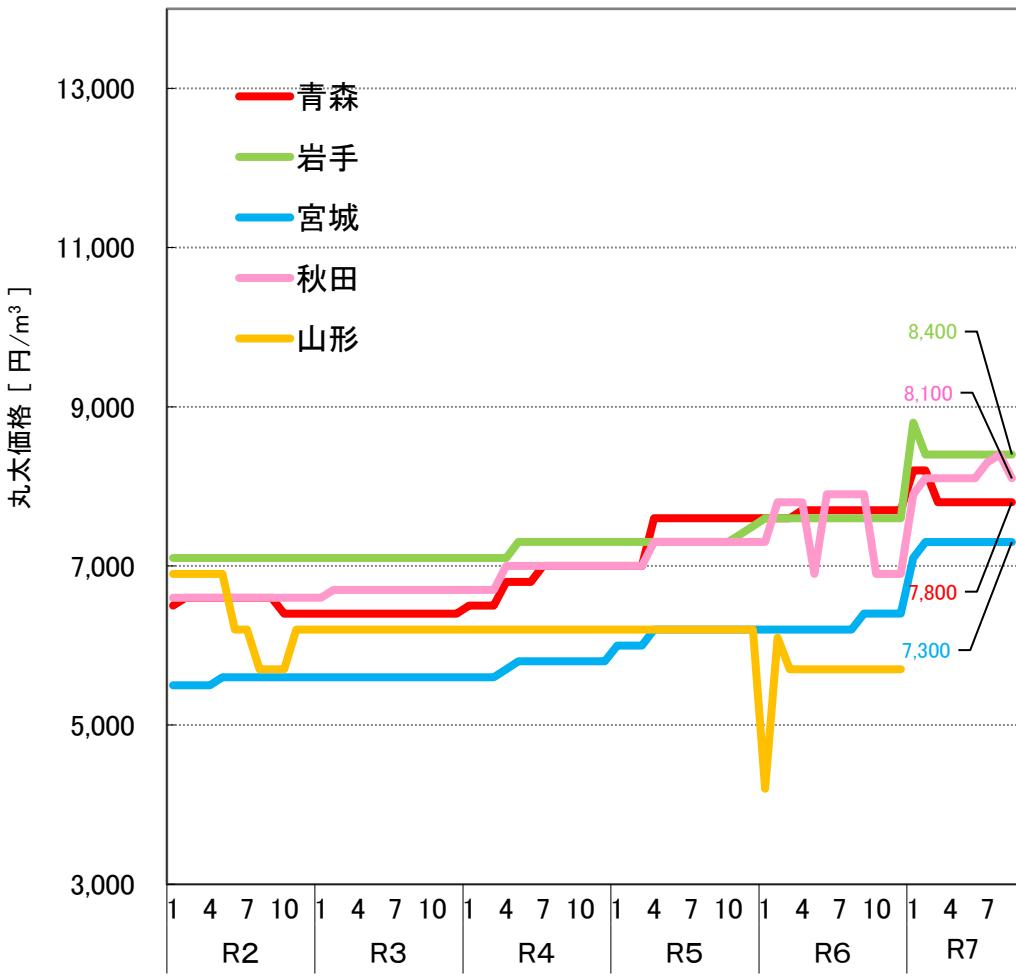
からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



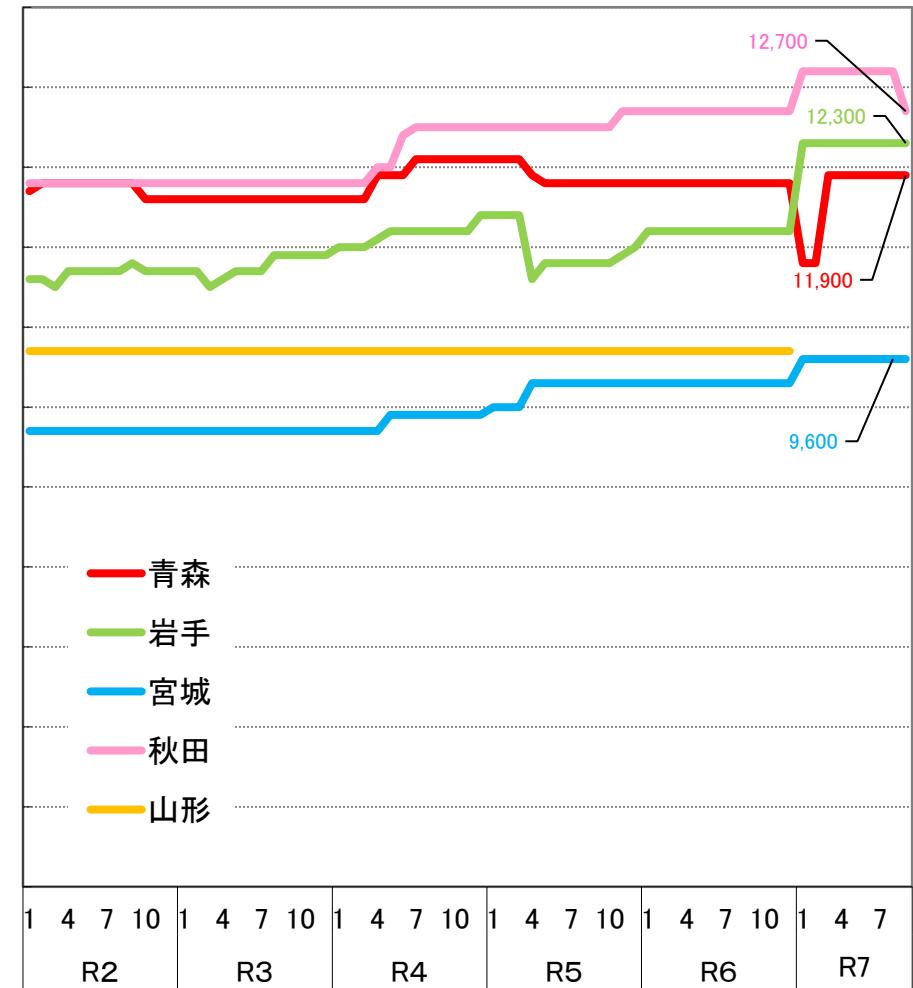
■チップ用丸太価格の推移（令和2年1月～令和7年9月）

- チップ用針葉樹は、7月以降横ばい。山形県は年明け以降、データなし。
- 広葉樹材も7月以降横ばいで山形県の年明け以降のデータなしであるが、秋田県のみ値下がり。

針葉樹材



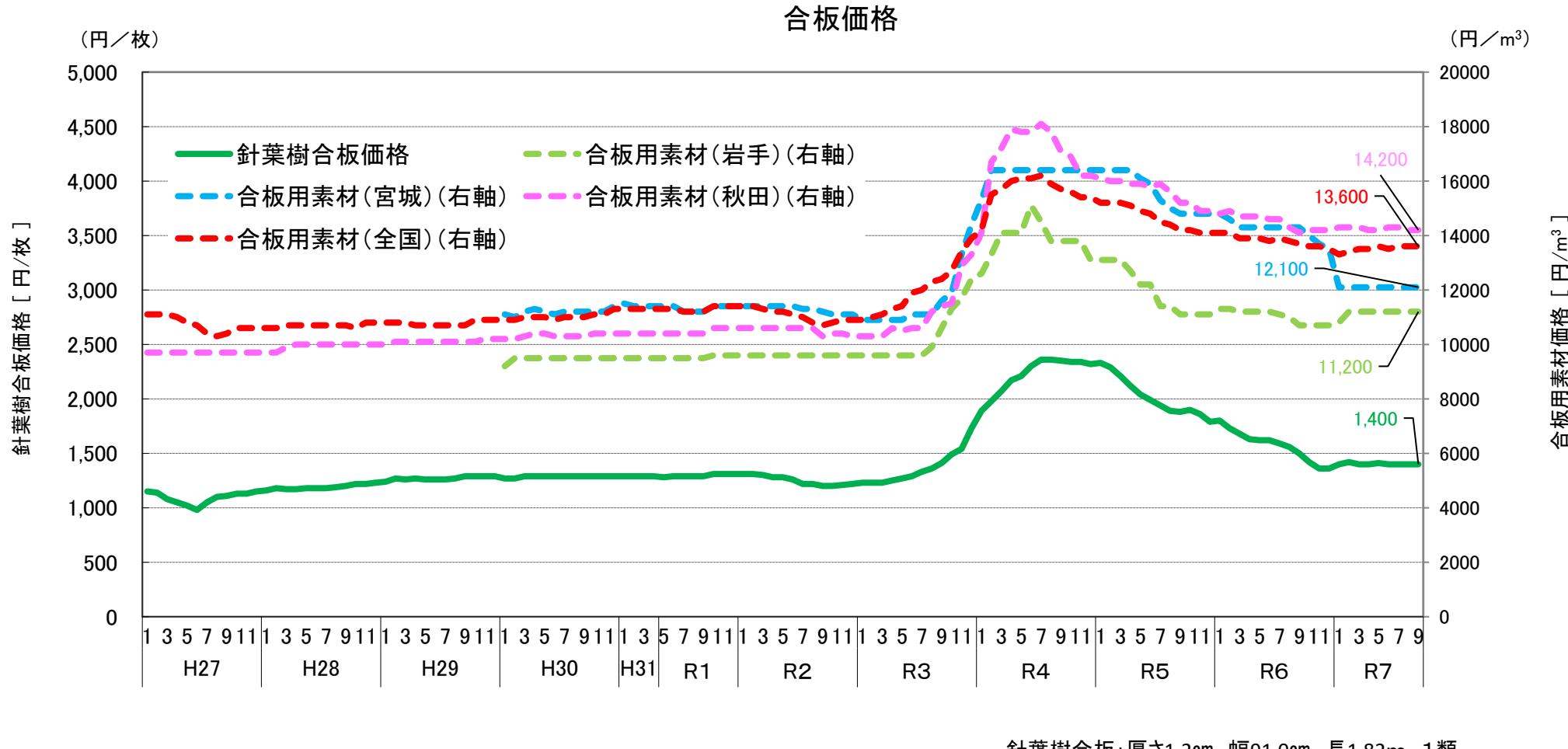
広葉樹材



出典:農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移（平成27年1月～令和7年9月）

- 針葉樹合板価格は、1,400円/枚。
- 合板用素材価格は、7月以降横ばいである。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

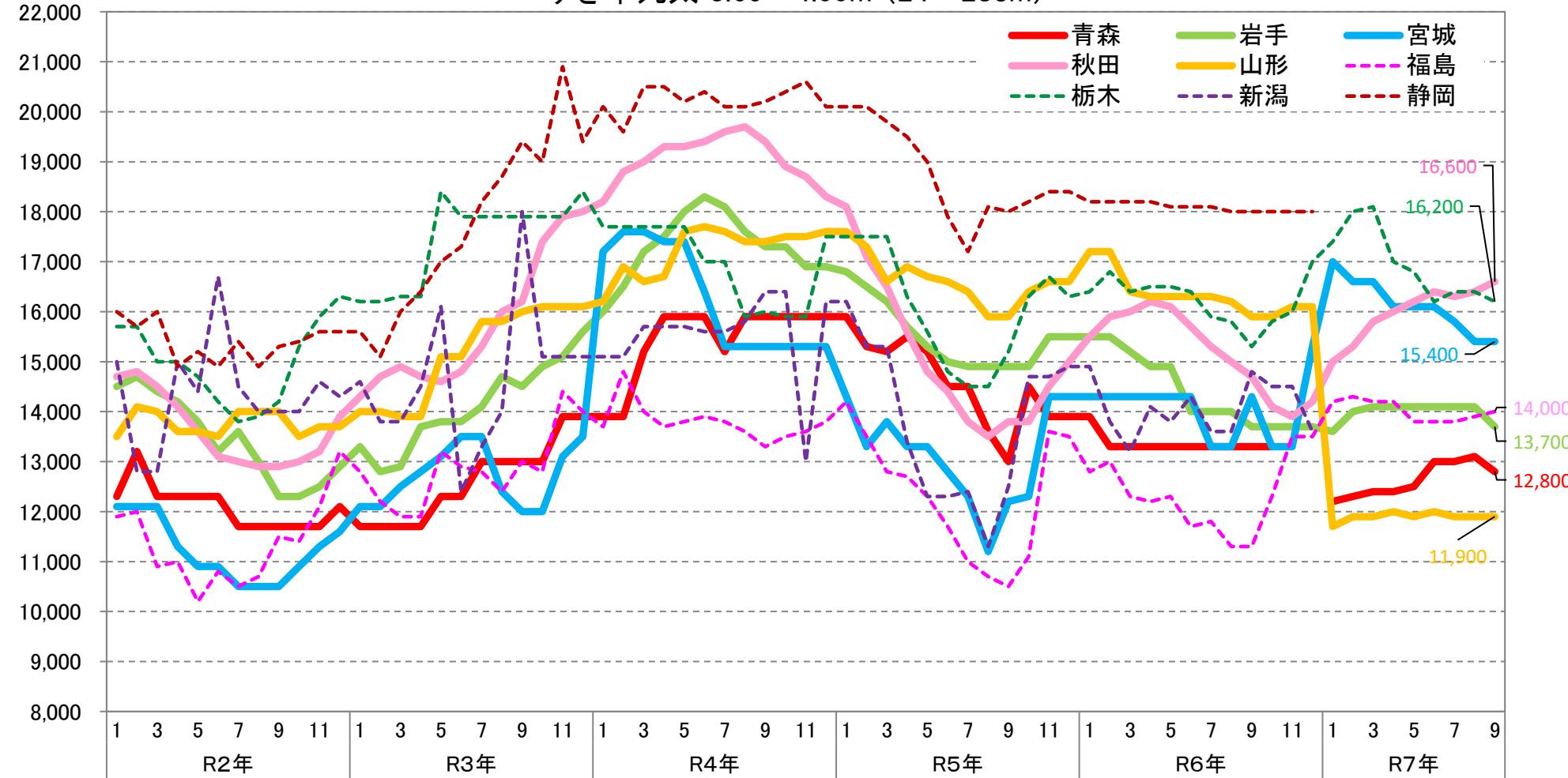
※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和7年9月）

○ すぎ中丸太の価格は、7月以降秋田・福島で堅調な状況。青森・岩手・栃木は値下がり傾向にあり、山形・宮城は同価格・横ばいである。

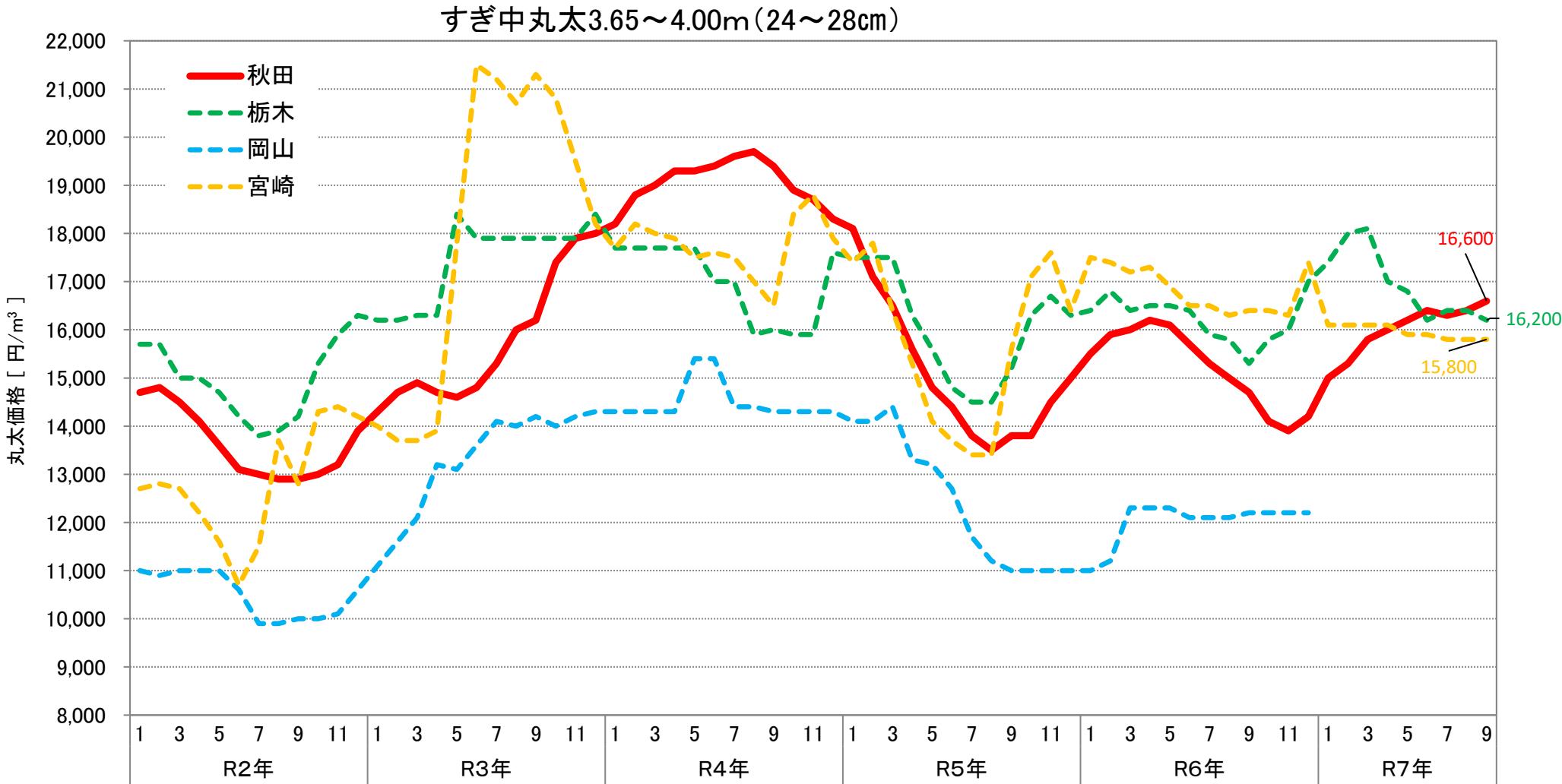
すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和7年9月）

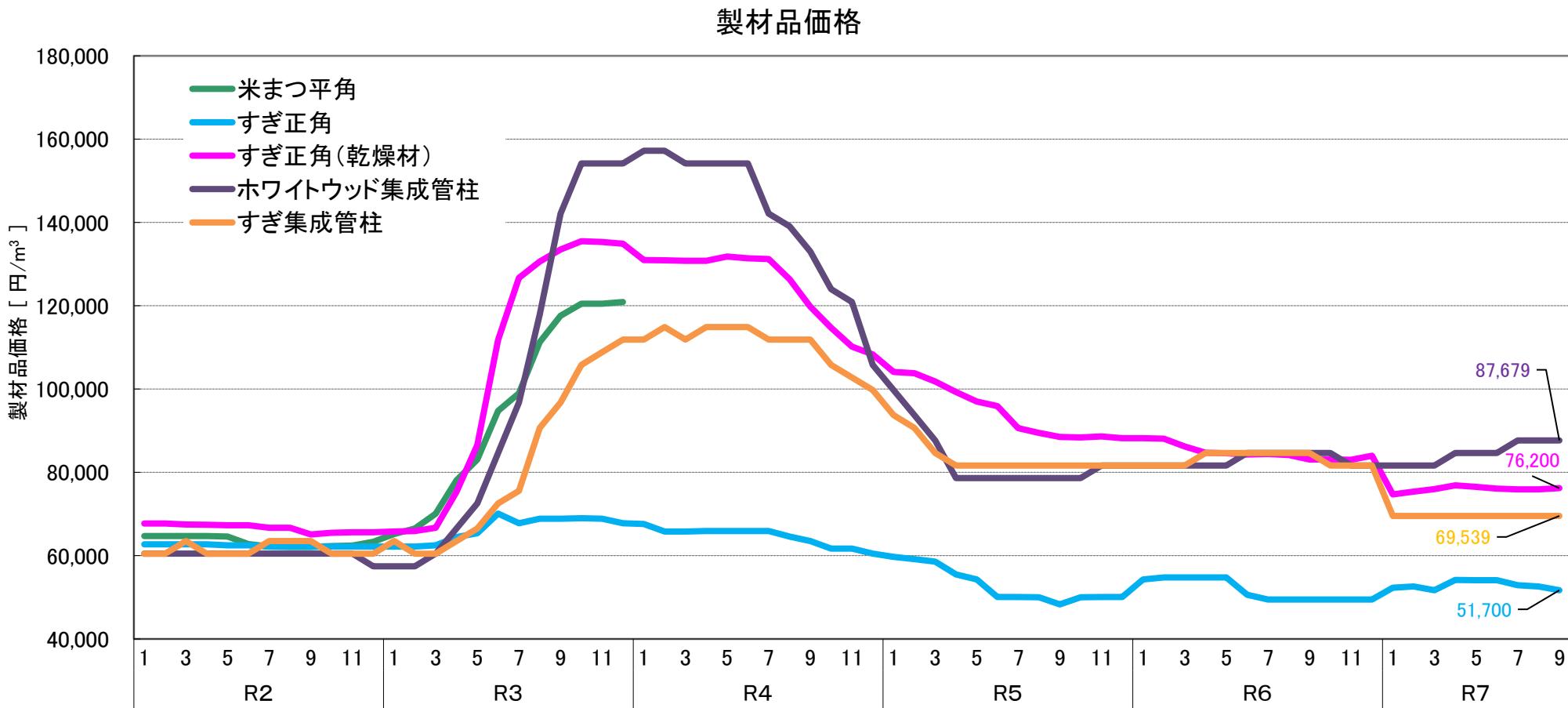
○ 7月以降秋田は強基調の傾向にあるが、栃木は値下がり傾向、宮崎は横ばいである。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

全国の製材品主要品目価格の推移（令和2年1月～令和7年9月）

○ すぎ正角は7月以降値下がり傾向であり、すぎ正角(乾燥材) Wウッド集成管柱7月以降は値上がり傾向にある。すぎ正角(乾燥材)とすぎ集成管柱は7月以降同価格・横ばい。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

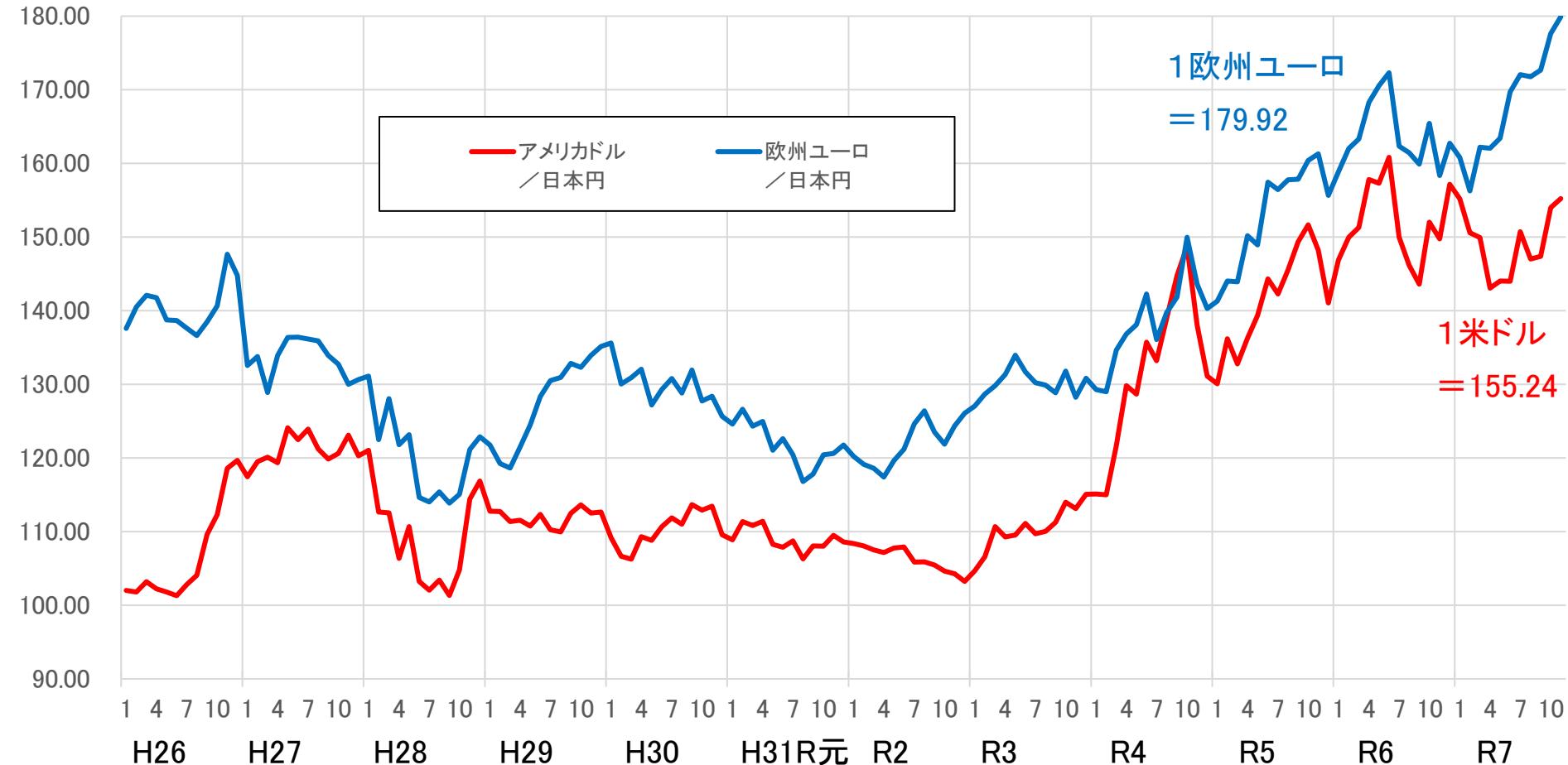
※2 令和2年1月から、ホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

※3 令和4年1月調査から、米まつ平角の製材品価格の把握は廃止された。

■ 為替レートの推移 (平成26年1月～令和7年11月)

- 米ドルは、11月1日現在155円台。
- 歐州ユーロは、11月1日現在179円台。

為替レートの推移

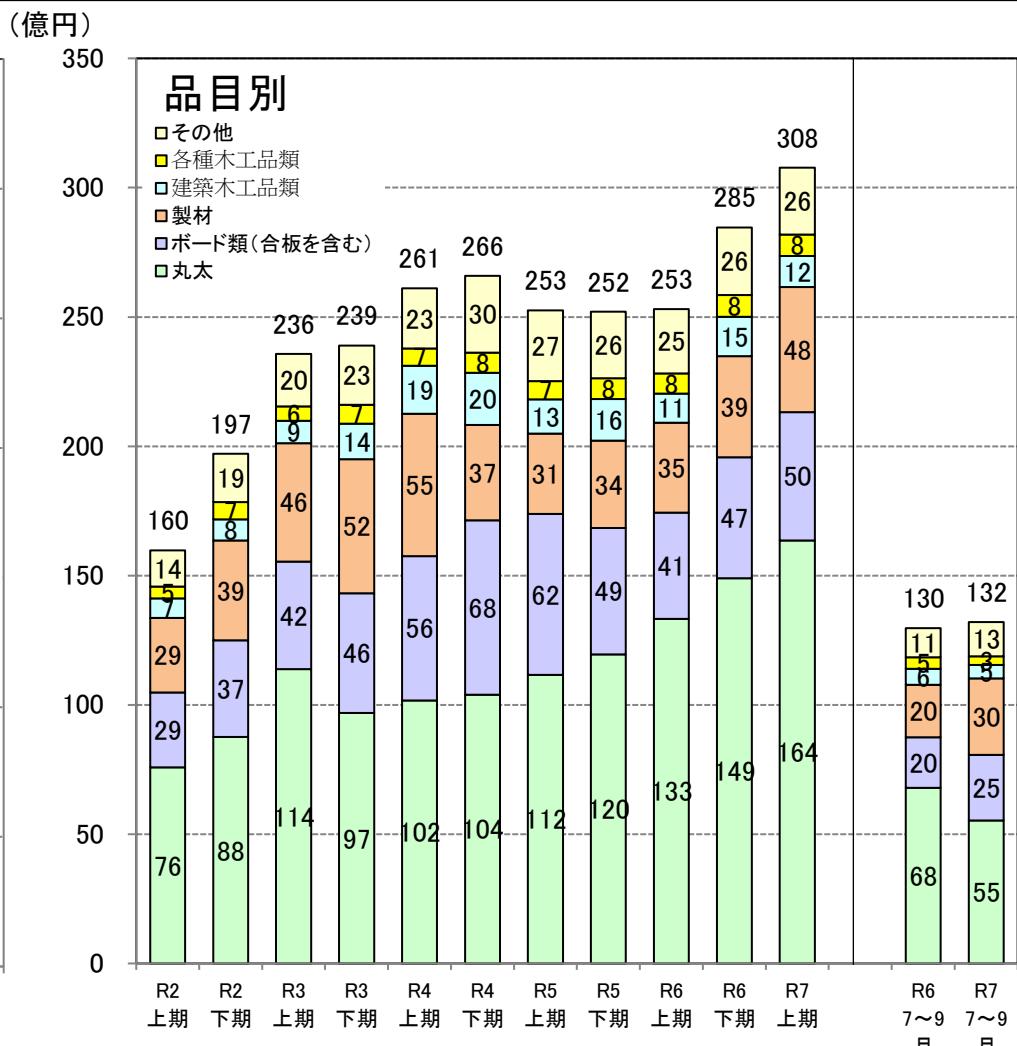
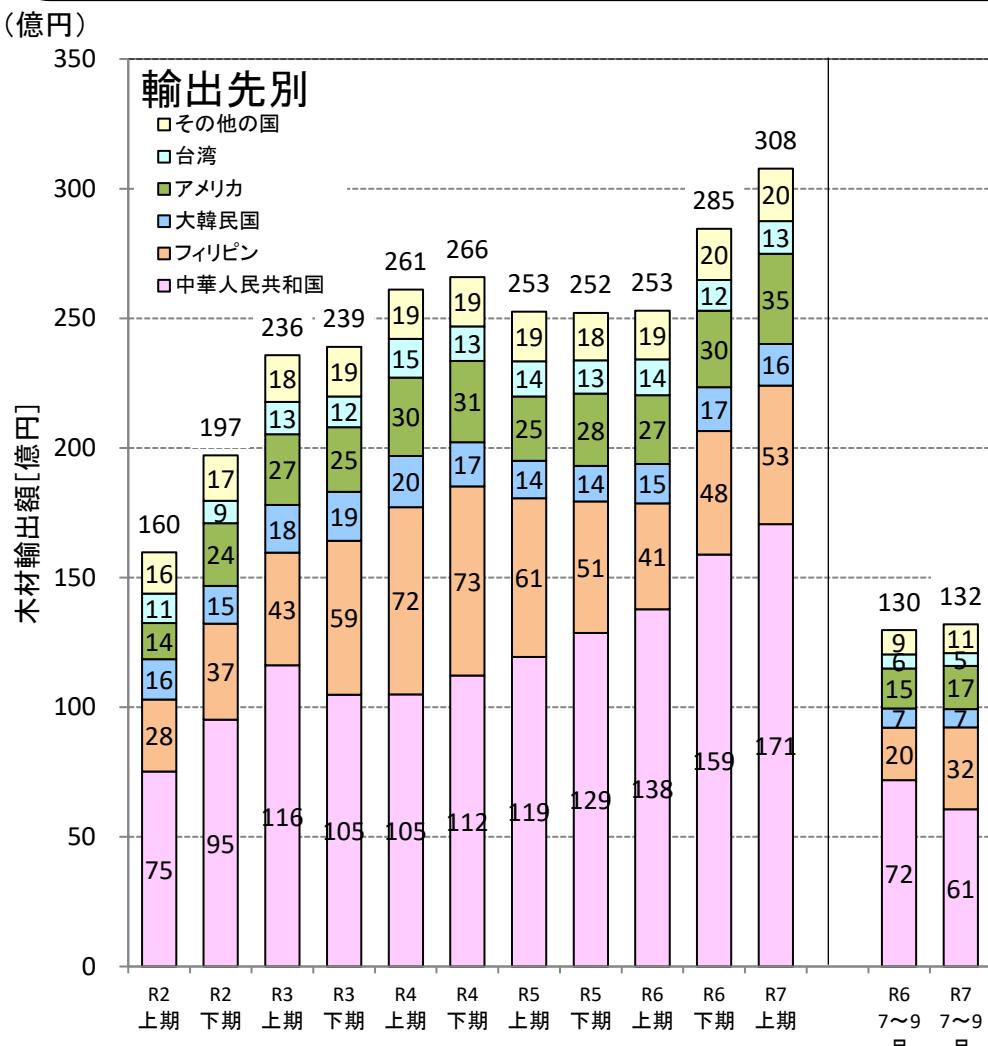


出典：Yahoo! ファイナンス(毎月の値は月初日の終値)

(注)：令和7年11月1日現在

■ 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

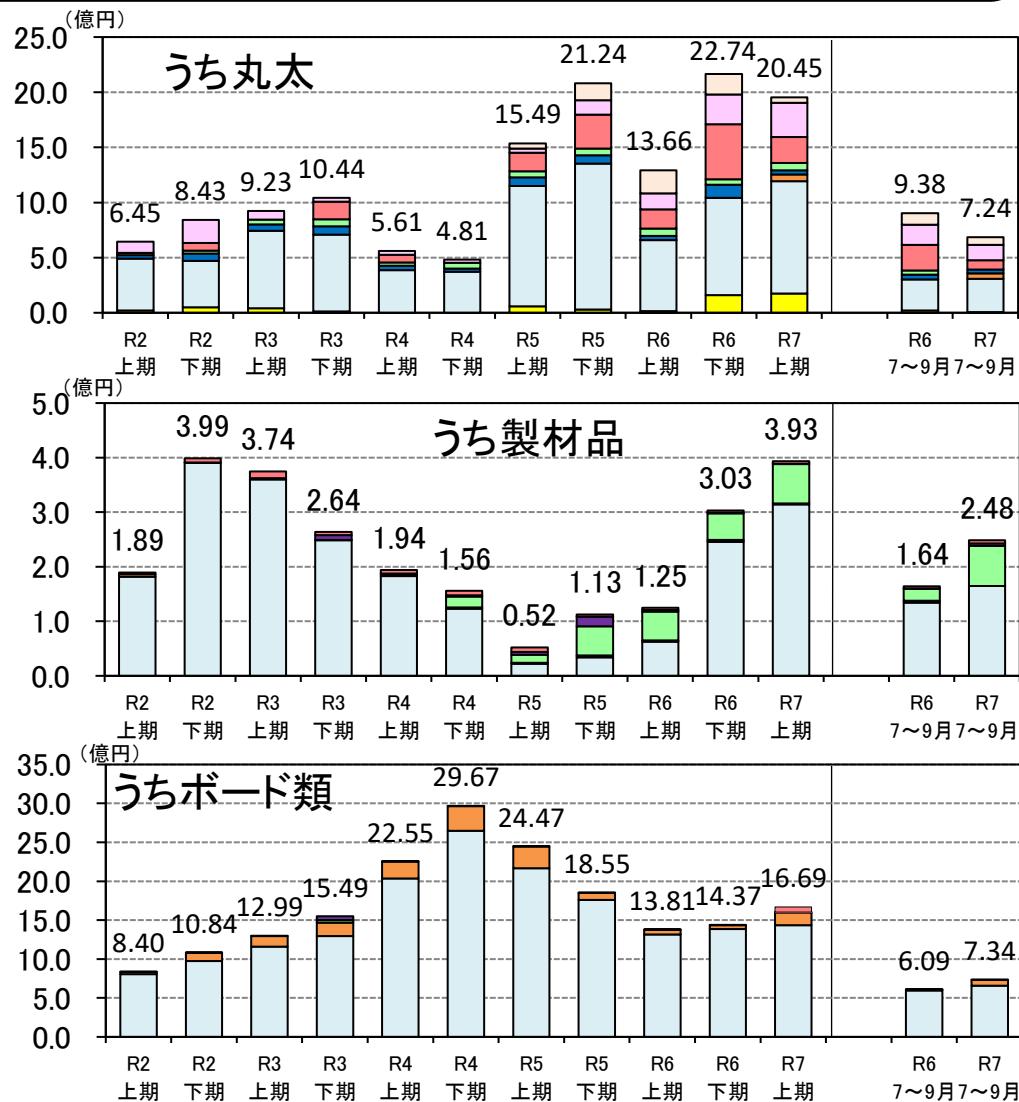
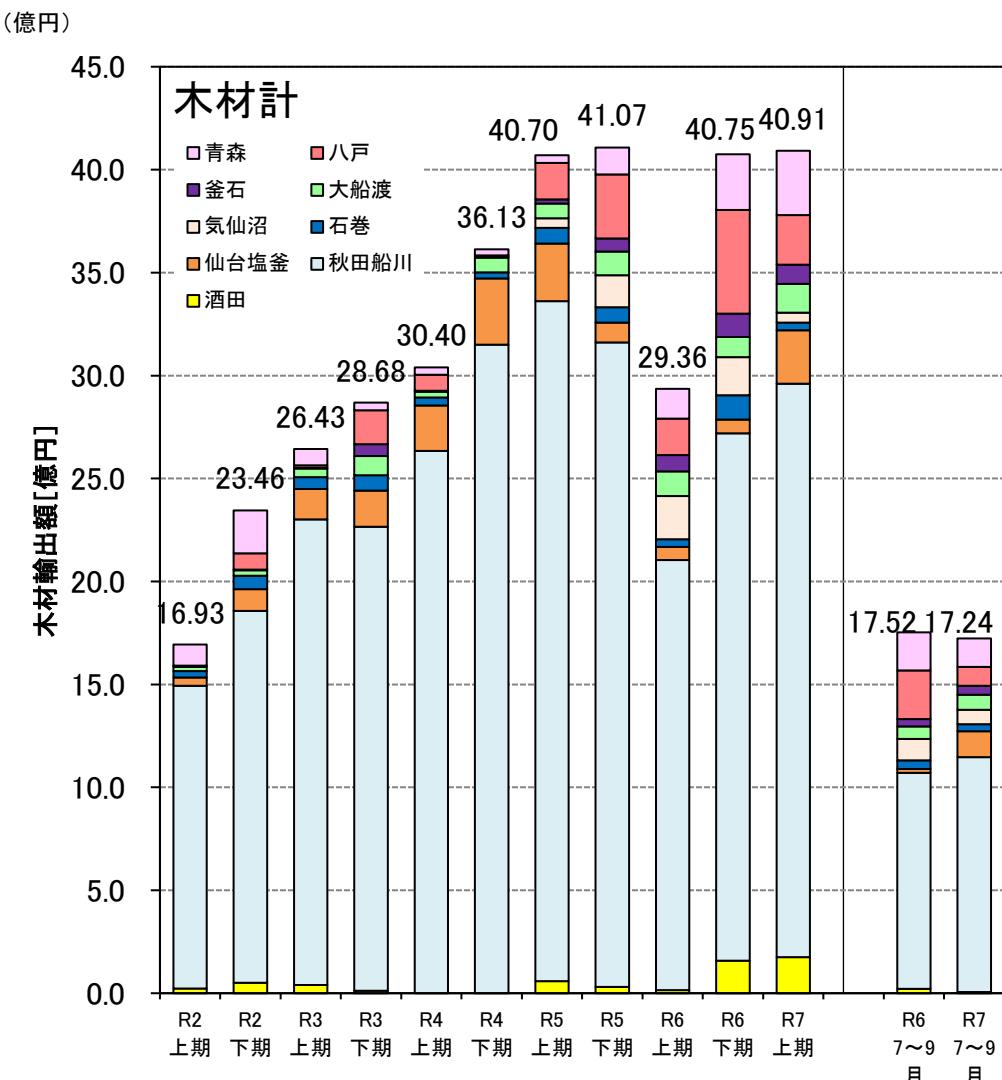
- 木材輸出額はR7年7～9月期を昨年同期と比較すると+1.8%となっている。
- R7年7～9月期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では、丸太が最も高く、次いで製材、ボード類となっている。
- R7年7～9月期と昨年同期を比較すると、丸太が-19%、製材が+47%、ボード類が+29%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

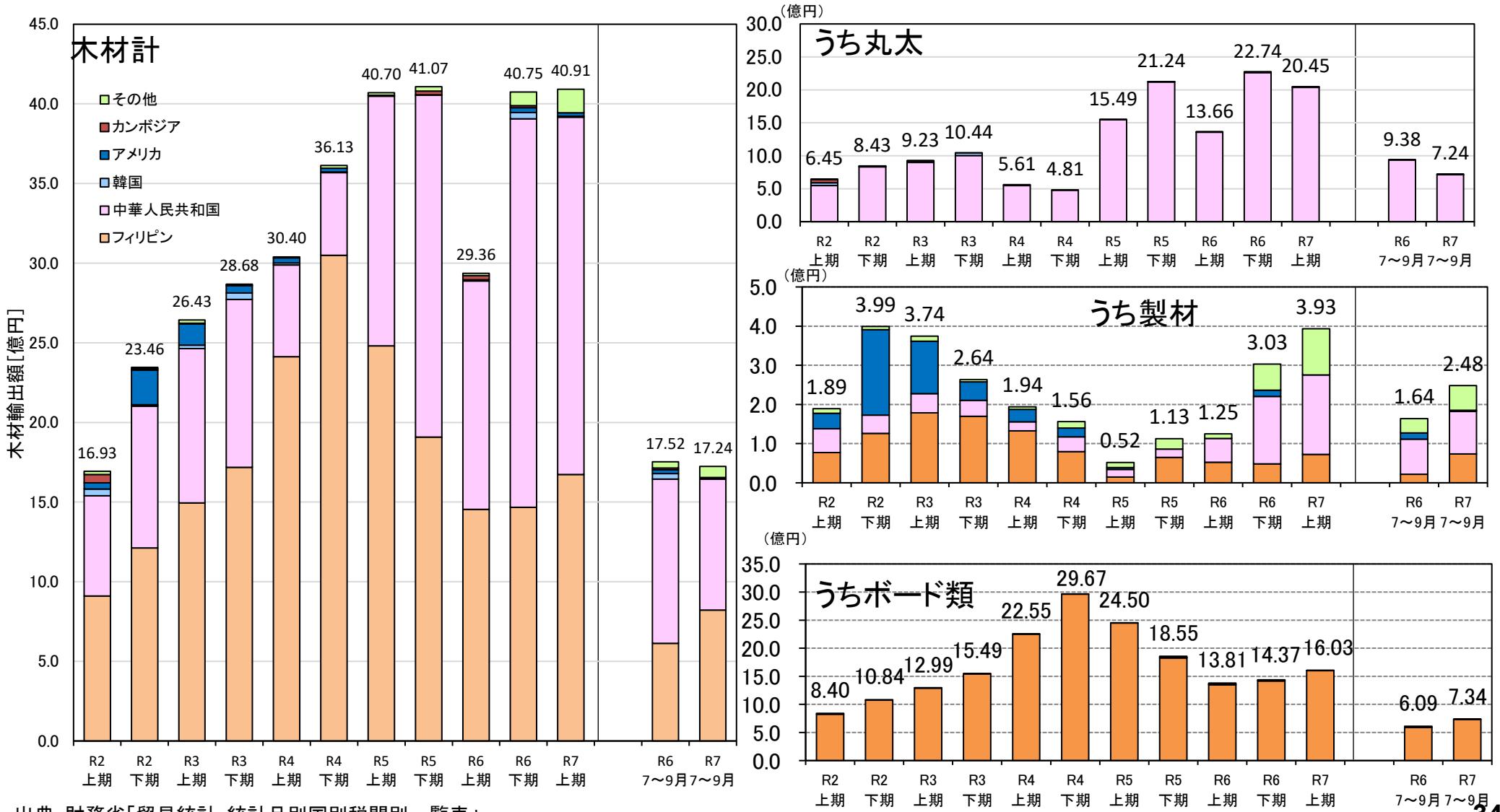
■ 東北5県における木材輸出額の推移

- R7年7～9月期と昨年同期を比較すると-1.6%となっている。
- 品目別のR7年7～9月期は昨年同期と比較して、丸太が-23%、製材が+51%、ボード類が+21%となっている。



■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

- R7年7～9月期の木材輸出額は、フィリピンが最も多い、次いで中国、韓国となっている。
- 品目別では、丸太、製材は中国が最も多い、ボード類はフィリピンが最も多いになっている。

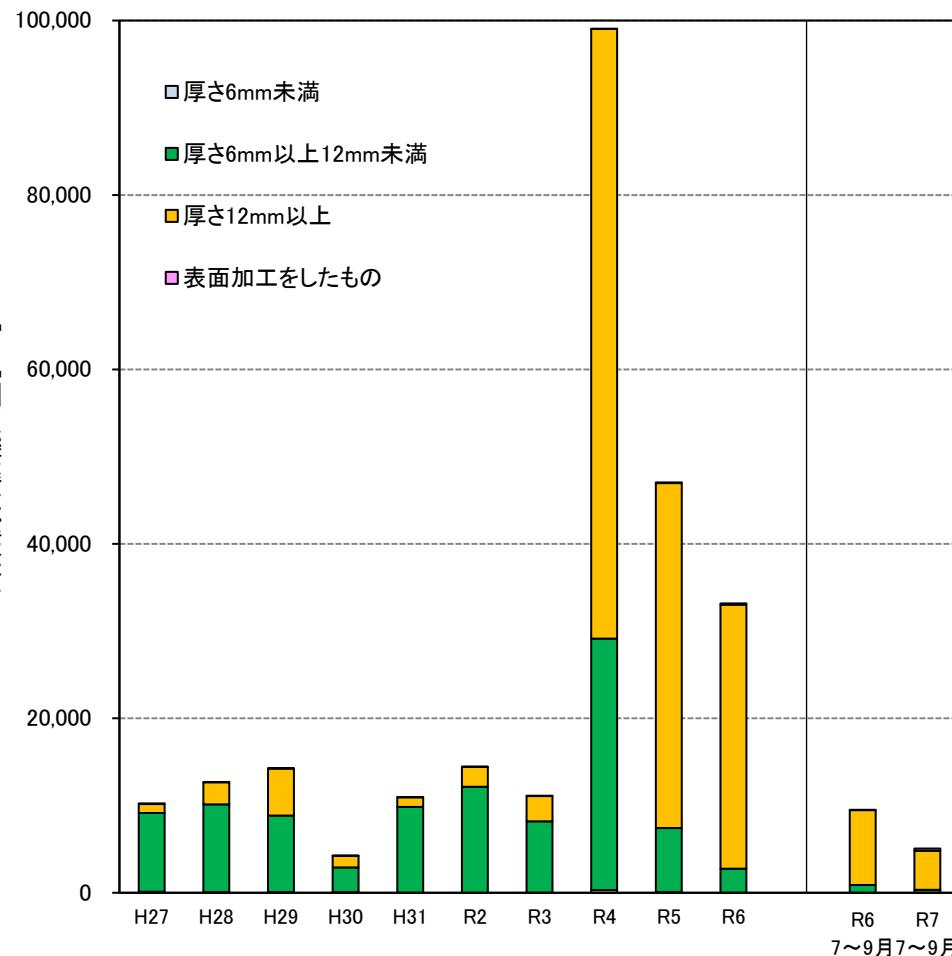


出典:財務省「貿易統計:統計品別国別税関別一覧表」

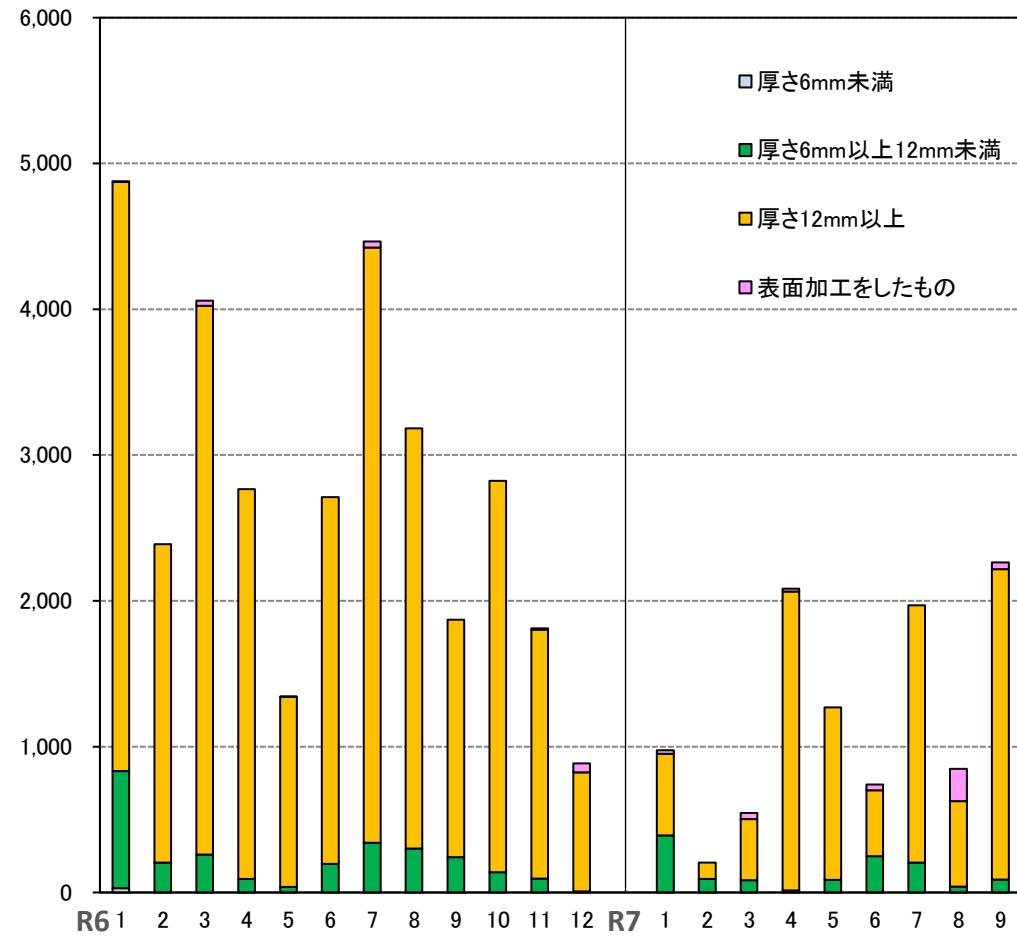
■ 中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

- R7年7～9月期と昨年同期を比較すると、-47%となっている。
- R7年の輸入量を月別に見ると、9月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入量(年別)



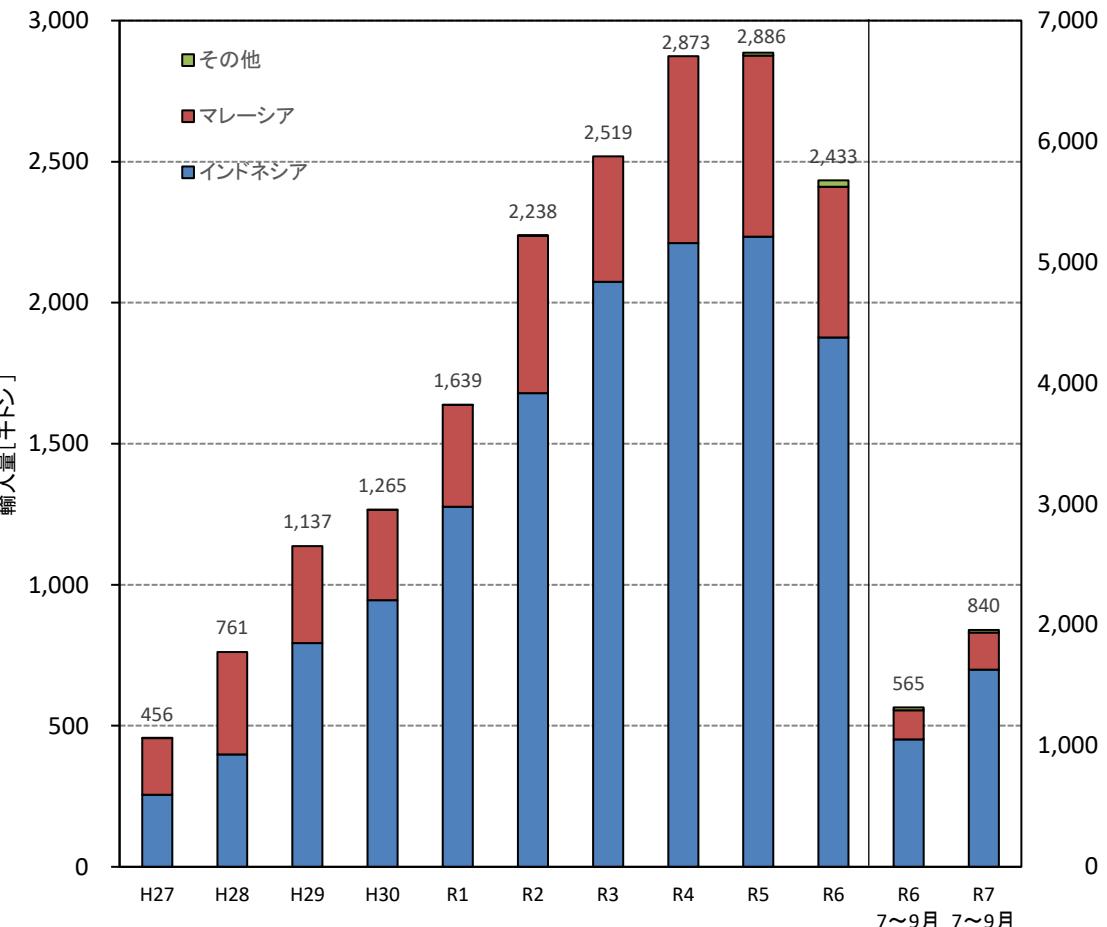
中国からの合板輸入量(R6・R7月別、m³)



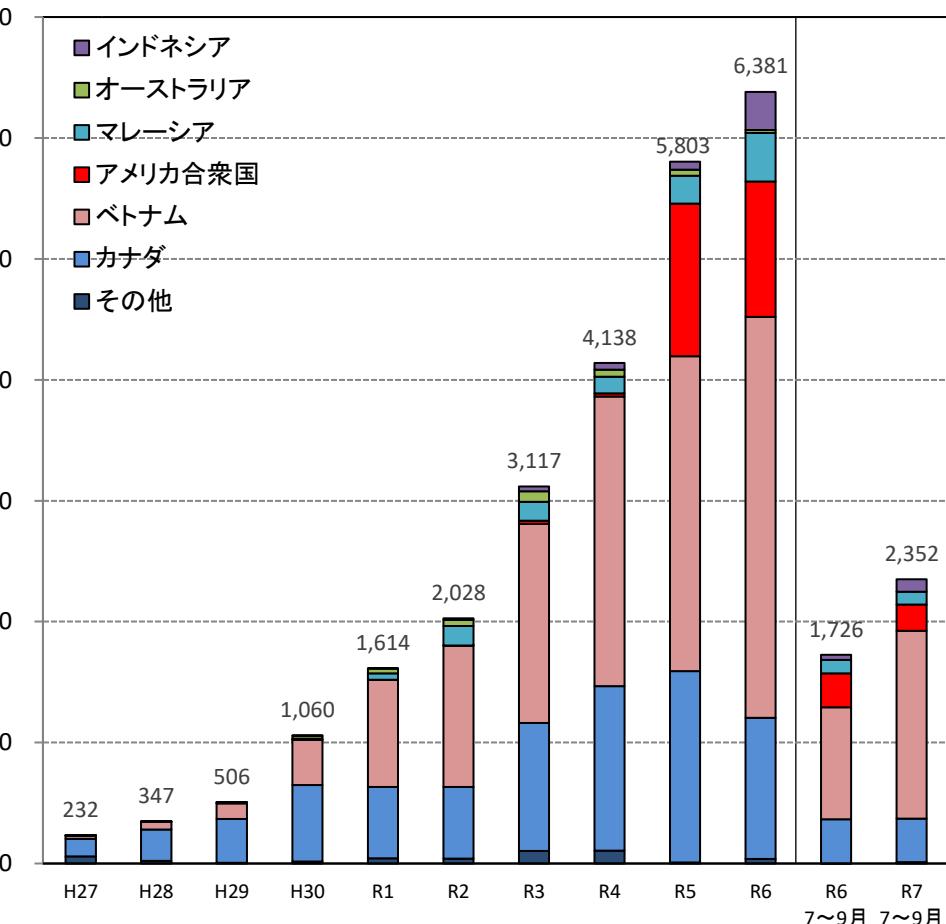
■ PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、R7年7～9月期と昨年同期を比較すると、+49%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア83%、マレーシア16%となっている。
- 木質ペレット輸入量は、R7年7～9月期と昨年同期を比較すると、+36%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム66%、カナダ15%、アメリカ9%となっている。

PKS



木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」

補足資料

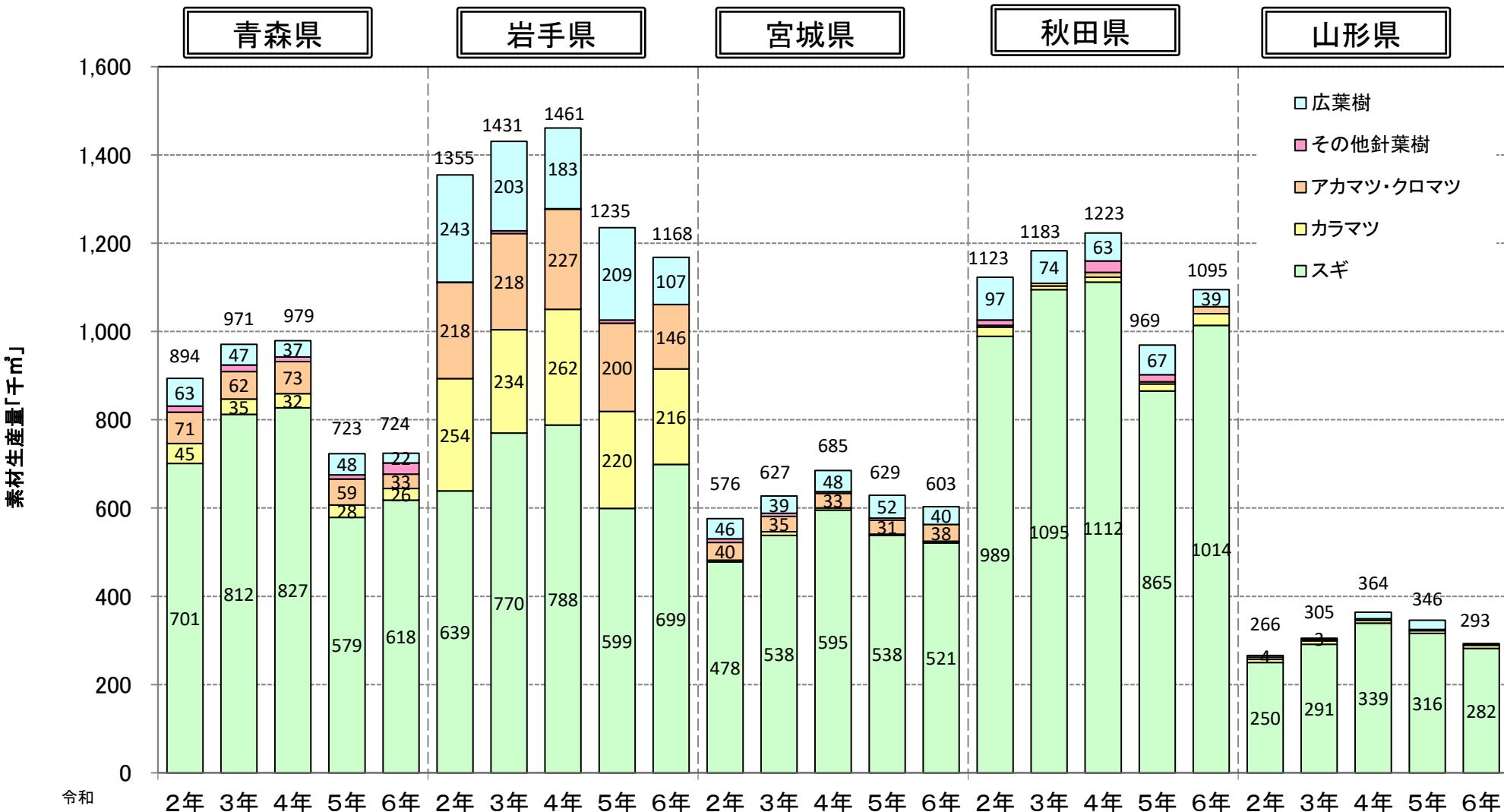
P39～40 東北森林管理局管内の素材生産量 (引用:令和7年7月29日公表「令和6年木材統計」等)

P41 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

P42 PKS・木質ペレットの輸入量の推移

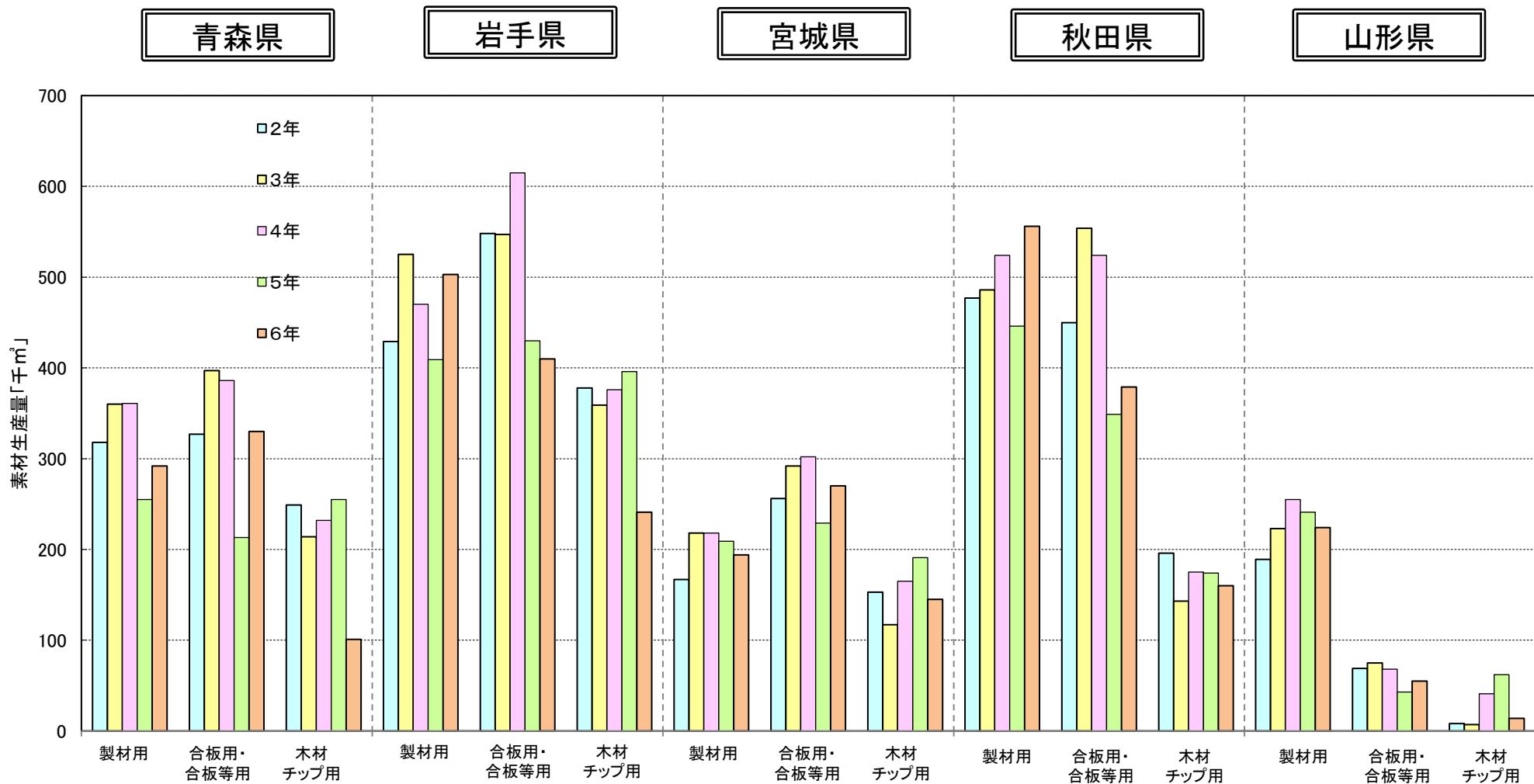
■ 東北森林管理局管内各県の国産材の樹種別素材生産量(民・国)の合計)(修正ver)

- 生産樹種は県によって異なる。青森県・宮城県・秋田県・山形県はスギが主体。
- 岩手県ではスギに加え、カラマツ・アカマツ・クロマツ・広葉樹の生産量が多い。



■ 東北森林管理局管内各県の需要部門別国産材の素材生産量(修正ver)

- R6年の製材用の比率が高いのは山形県(76%)。
- R6年の合板等用の比率は青森県(46%)、宮城県(44%)、岩手県(36%)が高い。
- R6年の木材チップ用の比率は秋田県(15%)、山形県(5%) が低い。



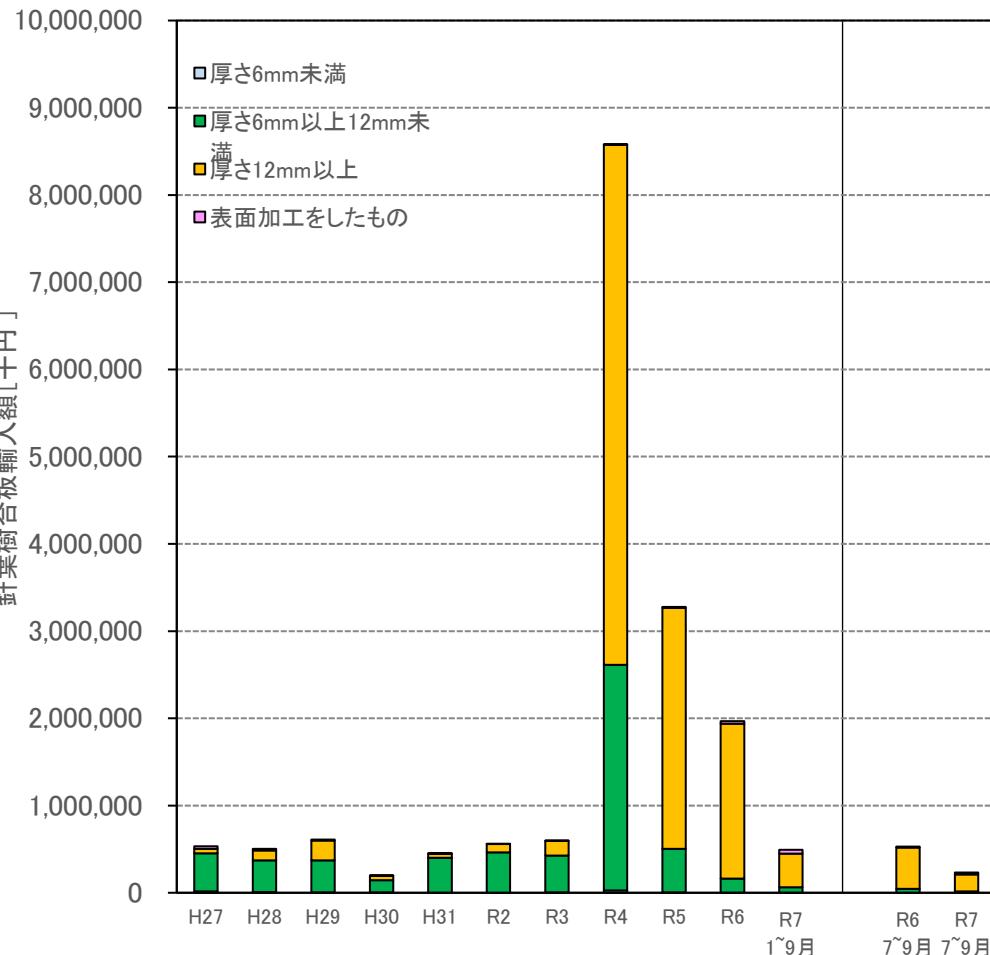
出典：農林水産省「木材統計」(令和6年度までの集計値)

注意：平成29年度から、「合板用」が新たにLVL用を含めた「合板等用」に変更となった

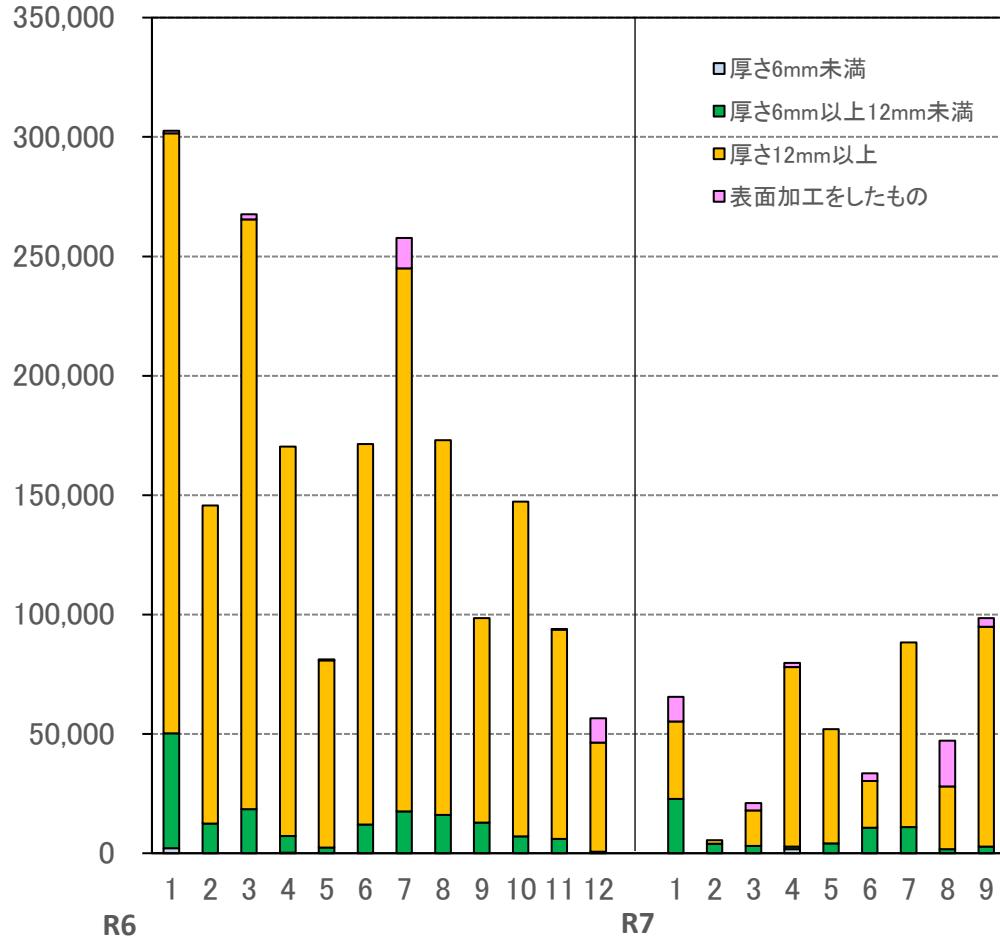
■ 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

- R7年7月～9月期を昨年同期を比較すると、-56%となっている。
- R7年の輸入額を月別に見ると、9月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入額(年別)



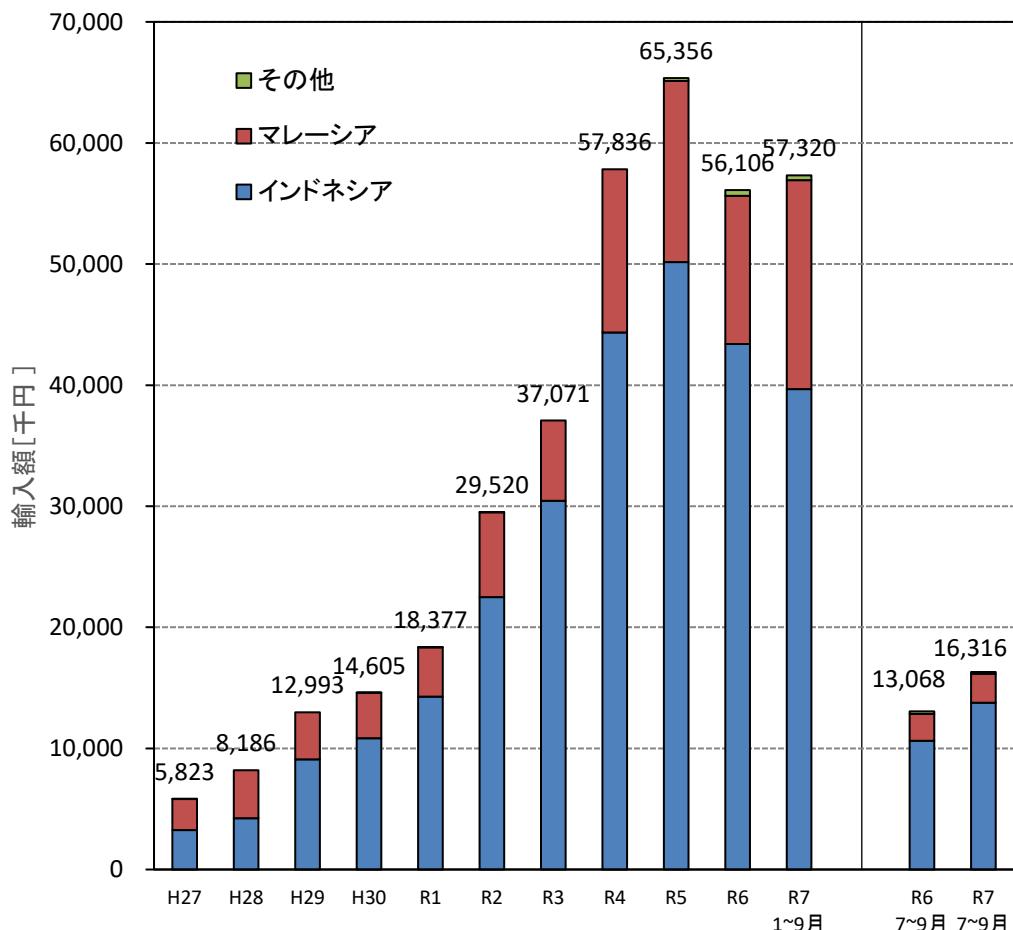
中国からの合板輸入額(R6、R7月別、千円)



■ PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入量は、R7年7～9月期と昨年同期を比較すると、+25%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア84%、マレーシア14%となっている。
- 木質ペレット輸入量も増加しており、R7年7～9月期と昨年同期を比較すると、+30%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム63%、カナダ17%、マレーシア4.3%、インドネシア3.8%となっている。

PKS



木質ペレット

